

交通環境学習実施状況調査（アンケート調査）

交通エコモ財団では、平成 28 年度より自治体における交通担当部署を対象としたアンケート調査を実施し、各地における交通環境学習の実態調査を実施している。また、平成 30 年度からは教育委員会向けにもアンケート調査を実施している。

今年度も同様に自治体及び教育委員会向けのアンケート調査を実施した。

1 自治体向けアンケート

1.1 調査の目的

全国の自治体における交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

1.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 5 年 10 月 16 日（月）～令和 5 年 11 月 17 日（金）

1.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 293 件（34.0%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	222	75.8
FAX		32	10.9
メール		39	13.3
総計	862	293	100.0

＜参考＞過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査と同様

	令和4年度調査		令和3年度調査		令和2年度調査	
	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)
インターネット	317	78.7	347	78.2	282	68.6
FAX	45	11.2	44	9.9	62	15.1
メール	41	10.2	53	11.9	67	16.3
有効回収件数	403件 回収率46.8%	100.0	444件 回収率51.5%	100.0	411件 回収率47.8%	100.0

1.4 調査項目及び調査票の設計

(1) 調査対象

アンケート調査票は、昨年度と同様、都道府県と市でA、Bの2種類に区別し、さらに、回答のしやすさを考慮して、昨年度調査での交通環境学習の取組みの有無により、質問の内容を下記の「内容1」、「内容2」にそれぞれ区分した。そのため、全部で4種類の調査票となっている。

内容1：令和4年度調査で交通環境学習の取組みが確認された自治体

内容2：令和4年度調査で交通環境学習の取組みが確認されなかった自治体

(回答があったが未実施、未回答)

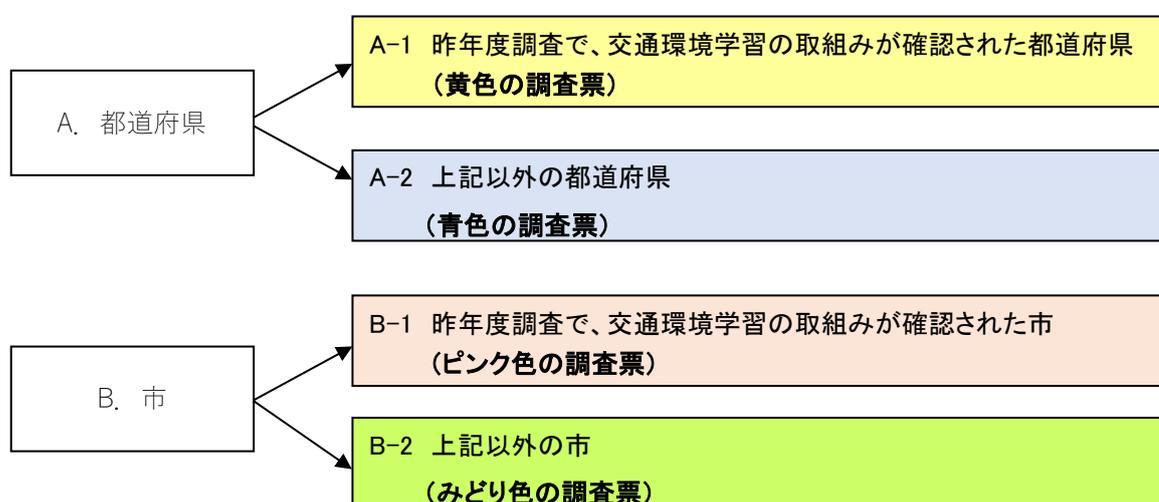


図 アンケートの構成

令和4年度調査の結果から、各調査票は以下の通り配布した。

表 各アンケート調査票の配布件数

令和4年度調査 問1(※)に対する選択肢	都道府県		市区	
	R4回答数	R5調査票	R4回答数	R5調査票
1. 実施した	5件	A1(5枚)	118件	B1(118枚)
2. 過去に実施したことはあるが、 昨年度は実施しなかった	5件	A2(42枚)	71件	B2(697枚)
3. 例年は実施していたが、昨年度 は新型コロナウイルスの影響の ため実施しなかった	1件		29件	
4. これまで実施したことがない	4件		170件	
不明・無回答	0件		0件	
未回収	32件		427件	
合計	47件	47枚	815件	815枚

(※) 問1: 貴自治体では昨年度(令和4年度)に、「交通環境学習」を実施しましたか?

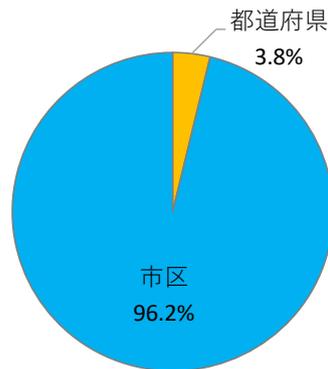
(2) 調査項目

アンケート調査項目は、新型コロナウイルスが令和5年5月から5類感染症となったことを受け、昨年度まで設定していた新型コロナウイルスの影響に関する選択肢及び設問(問1の昨年度の「交通環境学習」の実施状況、問4の今年度の「交通環境学習」の取組み状況について)を削除した。

1. 5 調査結果

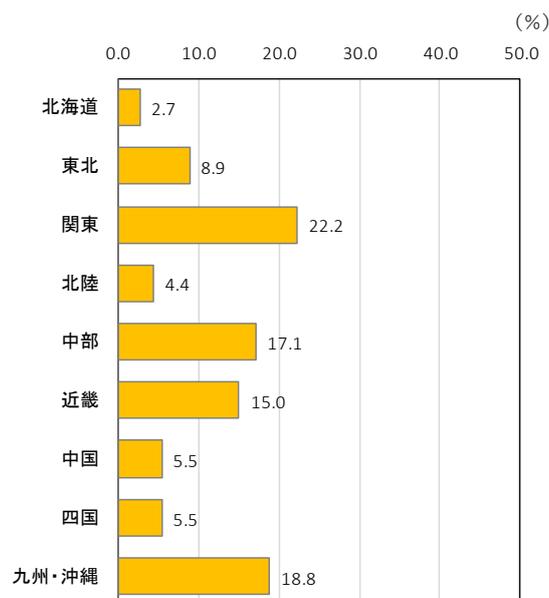
■回答者について

- 「都道府県」から 11 件（構成比 3.8%）、「市区」から 282 件（構成比 96.2%）の回答を得た。
- 回答票の構成比を地域別に見ると、「関東」が 22.2%と最も多く、次いで「九州・沖縄」が 18.8%となっている。
- 人口規模別に見ると、「10 万人未満」が 57.3%と最も多く、次いで「20 万人以上 50 万人未満」が 17.4%、「10 万人以上 20 万人未満」が 15.4%となっている。



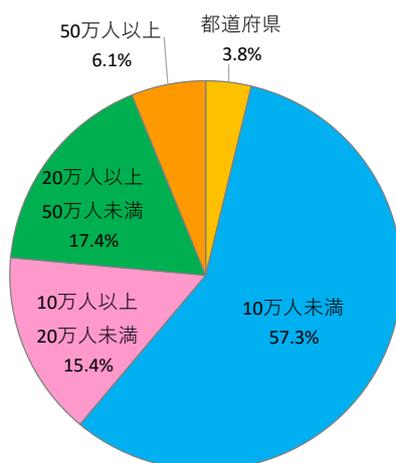
	今回調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	11	3.8	15	3.7
市区	282	96.2	388	96.3
合計	293	100.0	403	100.0

図 回答自治体



	今回調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	8	2.7	12	3.0
東北	26	8.9	34	8.4
関東	65	22.2	94	23.3
北陸	13	4.4	19	4.7
中部	50	17.1	72	17.9
近畿	44	15.0	62	15.4
中国	16	5.5	25	6.2
四国	16	5.5	20	5.0
九州・沖縄	55	18.8	65	16.1
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	293	100.0	403	100.0

図 地方種別



	今回調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	11	3.8	15	3.7
10万人未満	168	57.3	229	56.8
10万人以上 20万人未満	45	15.4	75	18.6
20万人以上 50万人未満	51	17.4	61	15.1
50万人以上	18	6.1	23	5.7
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	293	100.0	403	100.0

図 人口規模別

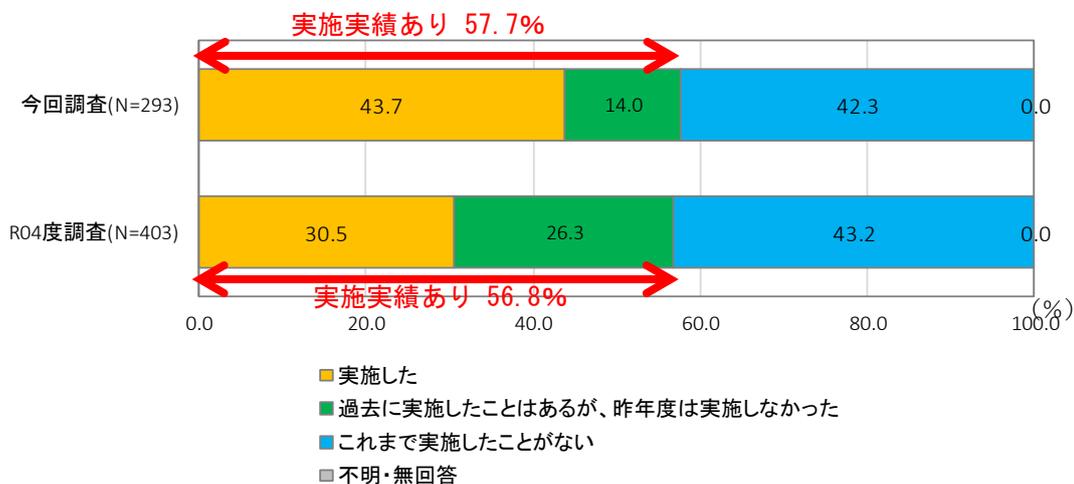
(1) 「交通環境学習」の実施状況

1) 「交通環境学習」の実施

① 「交通環境学習」の実施状況

問1 貴自治体では昨年度（令和4年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

- 交通環境学習の実施状況は、「実施した」が43.7%で昨年度より13.2ポイント増加している。
- 実施実績がある自治体は57.7%で、昨年度調査と比較すると0.9ポイント増加している。
- 地方別に見ると、6割以上の自治体に実施実績があるのは、近畿（77.3%）、中部（70.0%）である。
- 都道府県の実施率は63.6%、市区の実施率は57.4%となっており、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど実施率が高く、50万人以上の自治体では88.9%となっている。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	128	43.7	123	30.5	106	23.9
過去に実施したことはあるが、 昨年度は実施しなかった	41	14.0	106	26.3	136	20.6
過去に実施したことはあるが、昨 年度は新型コロナウイルスの影響 のため実施しなかった	-	-	76	18.9	65	14.6
過去に実施したことはあるが、昨 年度は実施しなかった（新型コ ロナウイルス以外の理由）	-	-	30	7.4	71	16.0
これまで実施したことがない	124	42.3	174	43.2	198	44.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	4	0.9
合計	293	100.0	403	100.0	444	100.0
実施したことがある	169	57.7	229	56.8	242	54.5

R04
調査
のみ

図「交通環境学習」の実施状況

<参考>調査票ごとの回答件数

	合計		A-1		A-2		B-1		B-2	
	回答数 (件)	構成比 (%)								
実施した	128	43.7	2	100.0	5	55.6	58	89.2	63	29.0
過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった	41	14.0	0	0.0	0	0.0	7	10.8	34	15.7
これまで実施したことがない	124	42.3	0	0.0	4	44.4	0	0.0	120	55.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	293	100.0	2	100.0	9	100.0	65	100.0	217	100.0
実施したことがある	169	57.7	2	100.0	5	55.6	65	100.0	97	44.7

A-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された都道府県

A-2 上記以外の都道府県

B-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された市区

B-2 上記以外の市区

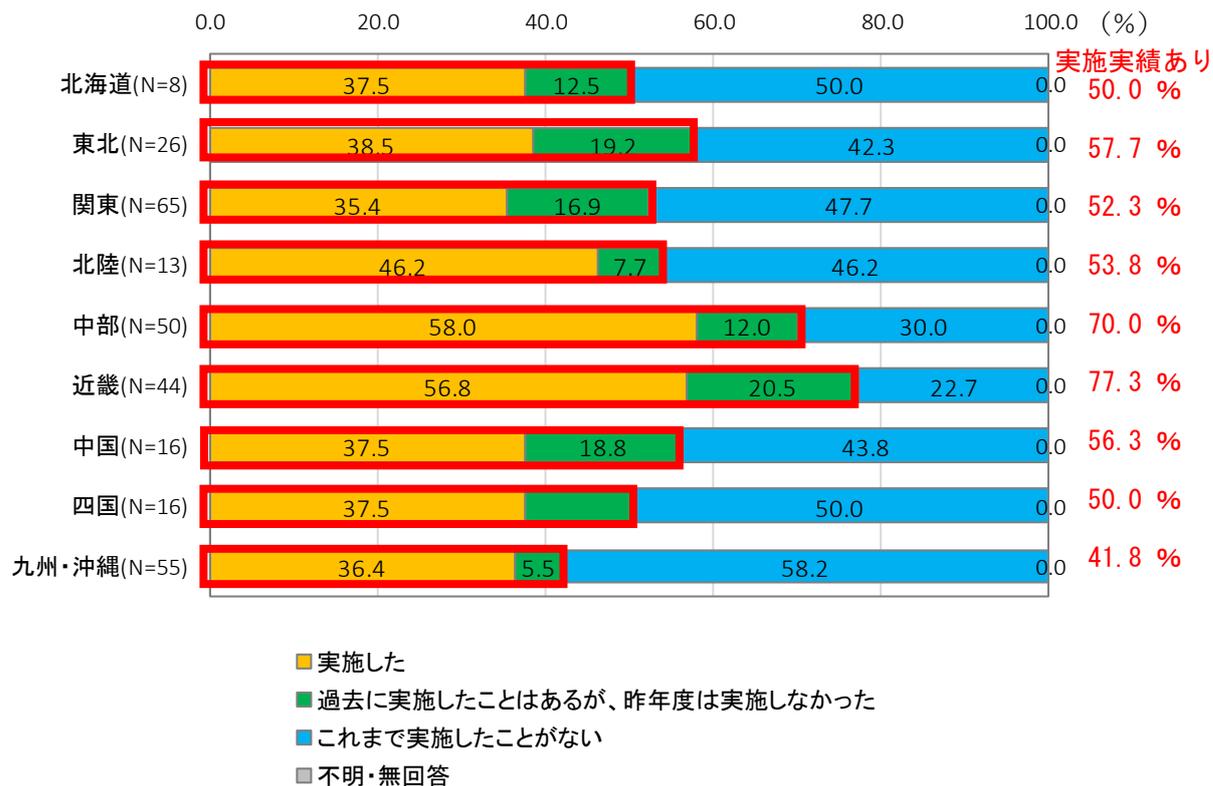


図 地方別「交通環境学習」の実施状況

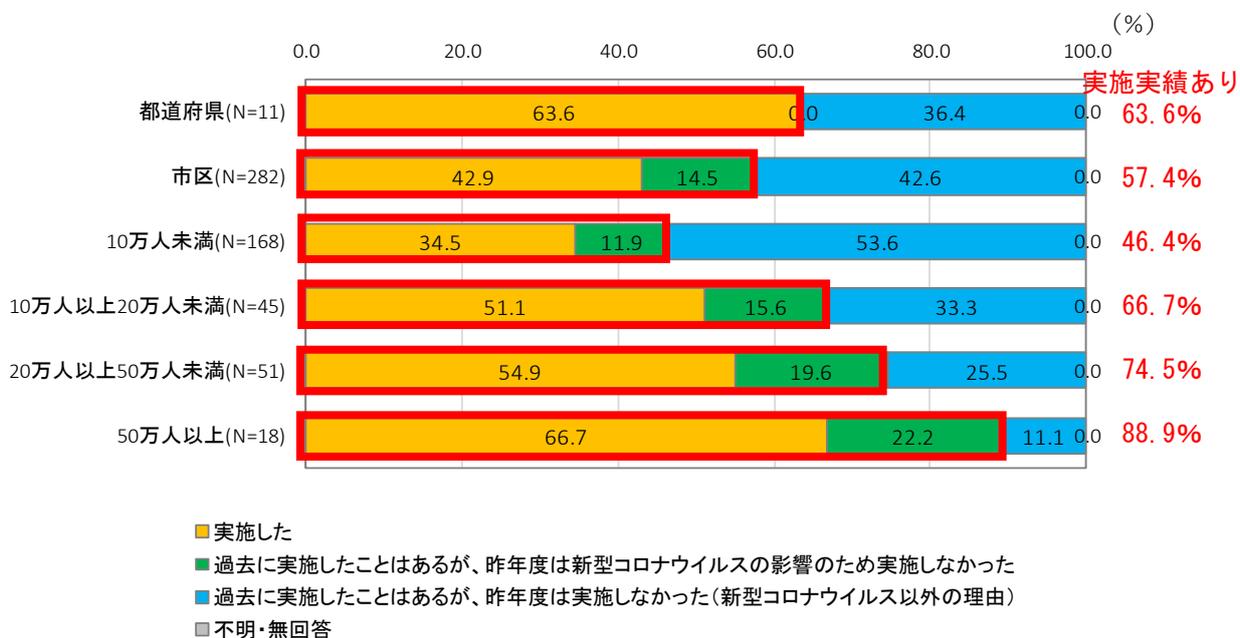


図 人口規模別「交通環境学習」の実施状況

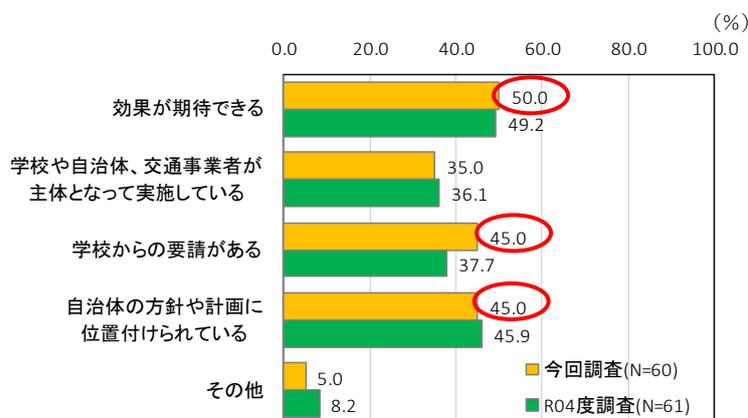
② 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認された自治体のみ)の設問:A-1・B-1 調査票)

(問1で「1」(実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？(いくつでも)

○昨年度調査で実施が確認された自治体に、交通環境学習を継続的に実施できる理由を聞いたところ、「効果が期待できる」が50.0%と最も高く、次いで「学校からの要請がある」、「自治体の方針や計画に位置付けられている」がいずれも45.0%となっている。「学校からの要請がある」が昨年度に比べ12.3ポイント高くなっており、学校の積極的な取り組みが増加したことがうかがえる。また、期待する効果の主な内容としては、「公共交通の利用促進・利用者増」が最も多かった。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)
効果が期待できる	30	50.0	30	49.2	27	50.9
学校や市町村、交通事業者が主体となって実施している	21	35.0	22	36.1	12	22.6
学校からの要請がある	27	45.0	23	37.7	16	30.2
自治体の方針や計画に位置付けられている	27	45.0	28	45.9	24	45.3
その他	3	5.0	5	8.2	9	17.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	60	100.0	61	100.0	53	100.0

図 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

■ 「1. 期待する効果」の主な内容

分類項目	件数(件)
公共交通の利用促進・利用者増	14
利用方法の周知・マナーの向上	4
公共交通の重要性の理解、行動変容	4
公共交通のことを知ってもらう・興味を持ってもらう	3
環境やバリアフリーに対する意識の啓発	2

■ 「5. その他」の主な内容

- ・意見交換の場として有効。商工会からの依頼に協力。
- ・コミュニティバスや電車で通学する児童に対して、毎年学校が乗車指導を実施している。

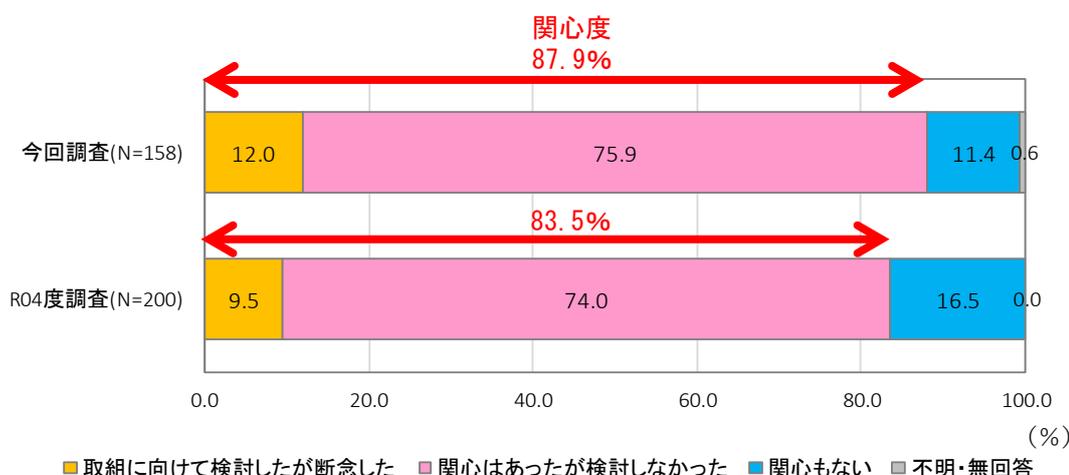
③ 「交通環境学習」に取り組む意向

(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認されなかった自治体のみへの設問:A-2・B-2 調査票)

(問1で「2」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった)、「3」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか? (1つに○)

○実施しなかった自治体に、交通環境学習に取り組む意向を聞いたところ、「関心はあったが検討しなかった」が75.9%、「取組に向けて検討したが断念した」が12.0%、「関心もない」が11.4%となっている。「取組に向けて検討したが断念した」と「関心はあったが検討しなかった」をあわせると、関心のある自治体は87.9%と8割を超えており、昨年度調査より4.4ポイント増加している。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組に向けて検討したが断念した	19	12.0	19	9.5	33	12.9
関心はあったが検討しなかった	120	75.9	148	74.0	178	69.8
関心もない	18	11.4	33	16.5	44	17.3
不明・無回答	1	0.6	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	158	100.0	200	100.0	255	100.0
関心がある	139	88.0	167	83.5	211	82.7

図 「交通環境学習」に取り組む意向

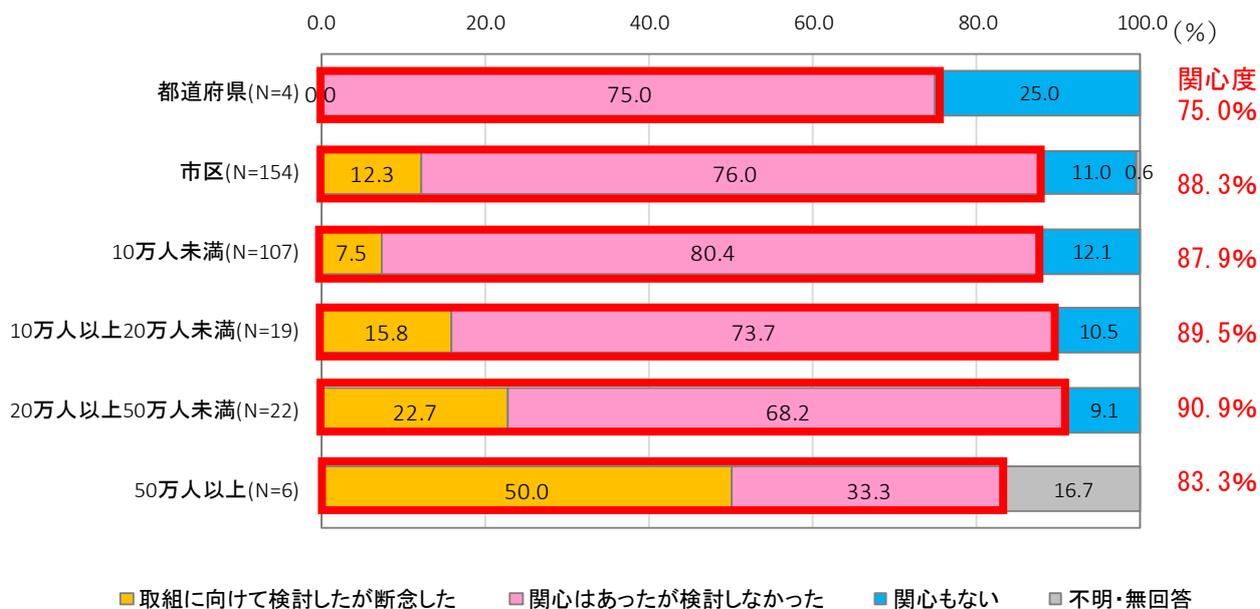


図 自治体規模別「交通環境学習」に取り組む意向

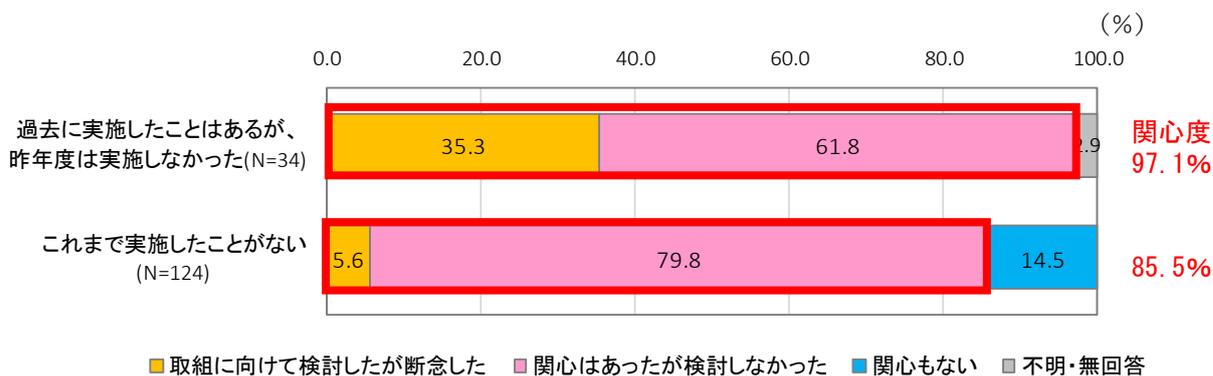


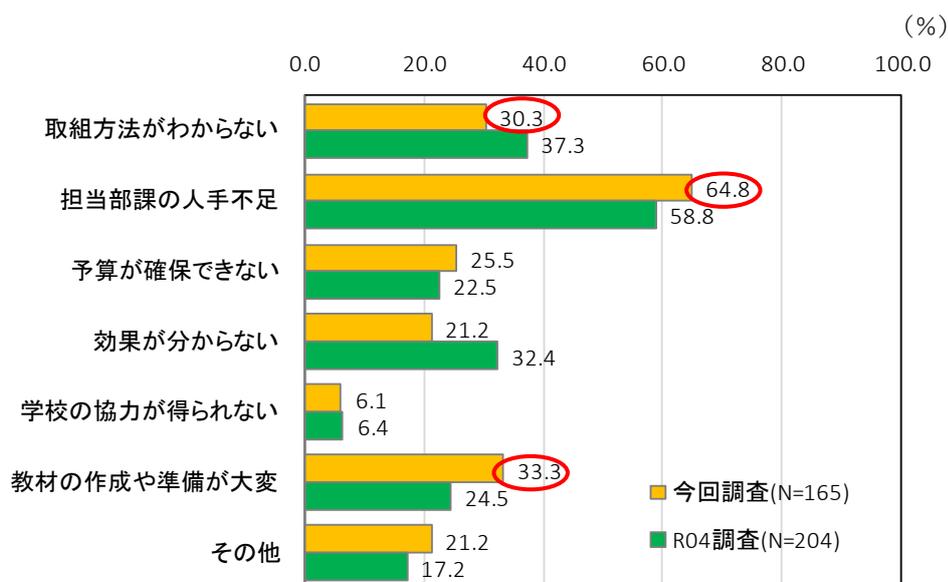
図 実施状況別「交通環境学習」に取り組む意向

④実施しなかった理由

(問1で「2」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった)、「3」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？(いくつでも)

- 「担当部課の人手不足」が64.8%と最も多く、次いで「教材の作成や準備が大変」が33.3%、「取組方法がわからない」が30.3%となっている。また、その他の意見としては、「新型コロナウイルスの影響」が最も多く挙げられた。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組方法がわからない	50	30.3	76	37.3	77	28.6
担当部課の人手不足	107	64.8	120	58.8	133	49.4
予算が確保できない	42	25.5	46	22.5	71	26.4
効果が分からない	35	21.2	66	32.4	60	22.3
学校の協力が得られない	10	6.1	13	6.4	15	5.6
教材の作成や準備が大変	55	33.3	50	24.5	79	29.4
その他	35	21.2	35	17.2	80	29.7
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	165	100.0	204	100.0	269	100.0

図 実施しなかった理由

■ 「7. その他」の主な意見

分類項目	件数（件）
新型コロナウイルスの影響	11
学校からの依頼、要望がなかった	6
他の実施主体（学校、交通事業者）が取り組んでいる	5
他に優先する業務がある	4
関係機関・関係部署との調整	2
募集したが応募がなかった	2
その他	5

○人口規模別にみると、人口規模に関わらず、「担当部課の人手不足」が多く挙げられている。

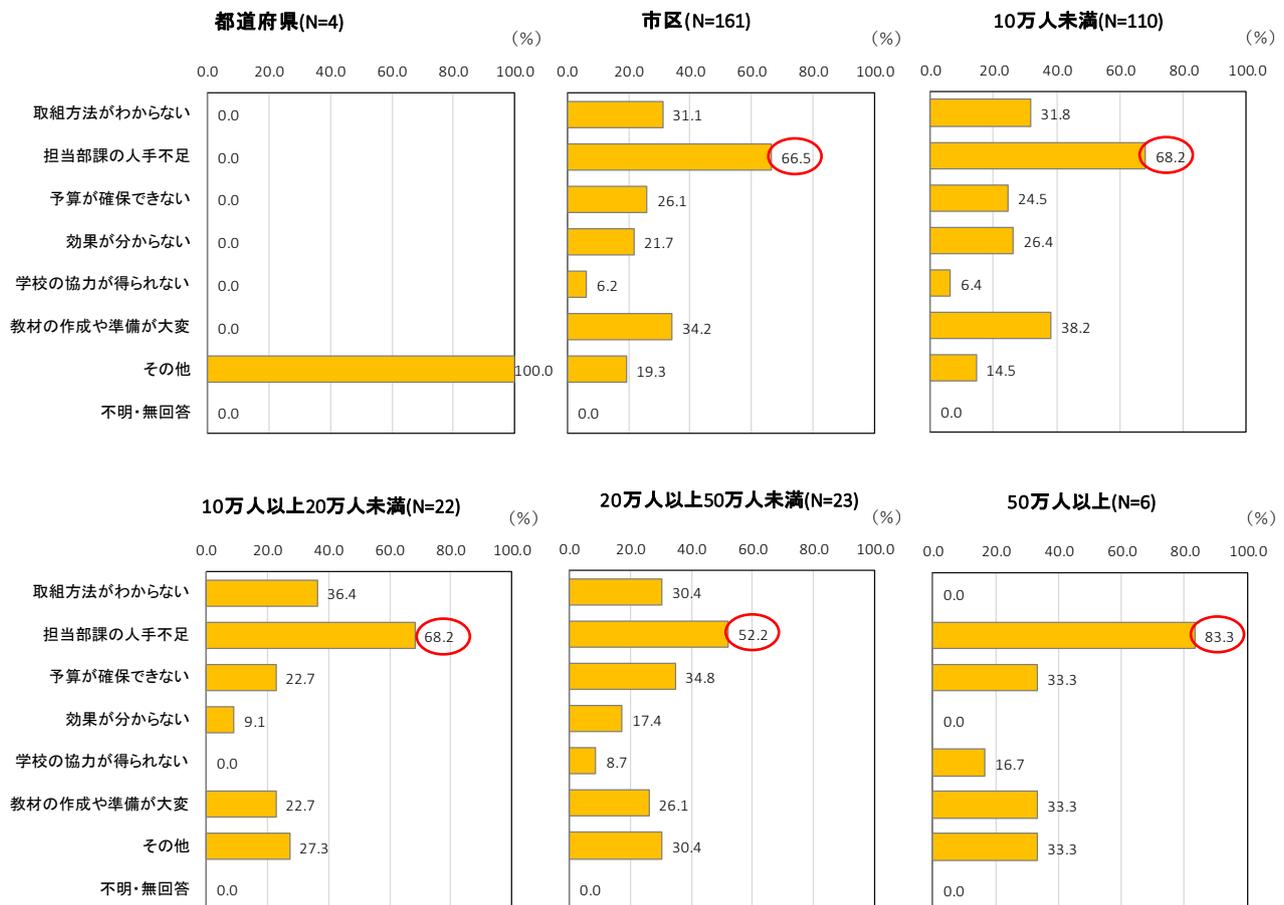


図 人口規模別 実施しなかった理由

【取組む意向別 実施しなかった理由】

○取組に向けて検討した団体、関心はあったが検討した団体では、「担当部課の人手不足」が多く挙げられていた。

○関心のない自治体では、「取組方法がわからない」が多くなっている。

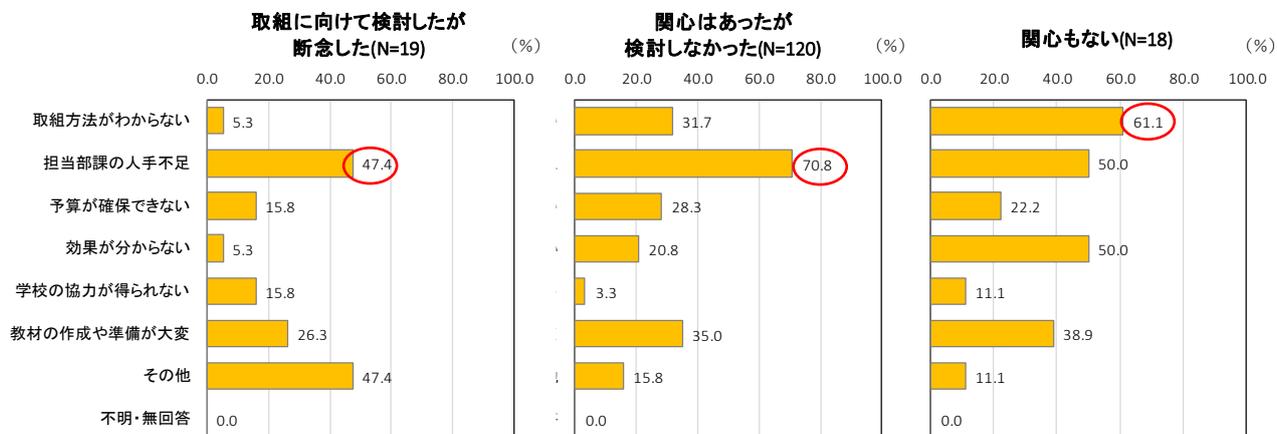


図 取組意向別 実施しなかった理由

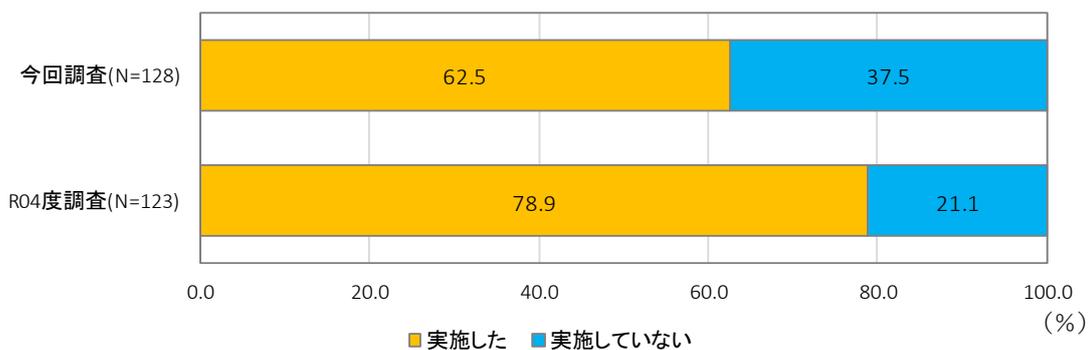
2) 交通環境学習の実施方法

(問1で「実施した」と回答した自治体のみ)

①授業の一環としての「交通環境学習」の実施

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。
 (1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

○学校の授業の一環として「実施した」が62.5%を占める。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	80	62.5	97	78.9	81	76.4
実施していない	48	37.5	26	21.1	25	23.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計 (回答対象件数)	128	100.0	123	100.0	106	100.0

図 「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

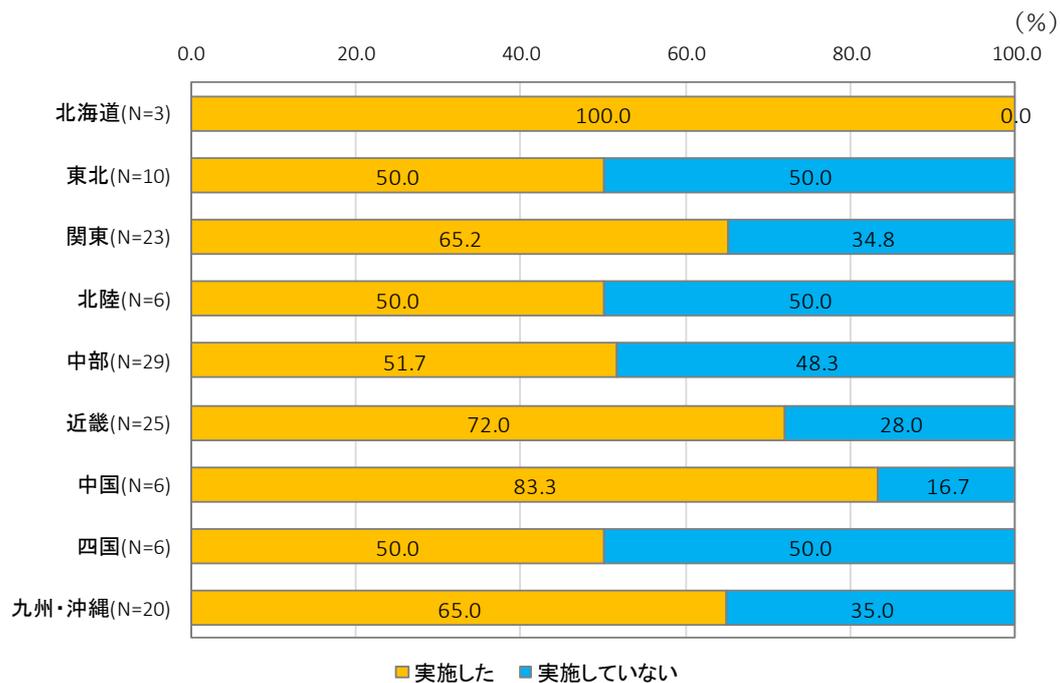


図 地方別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

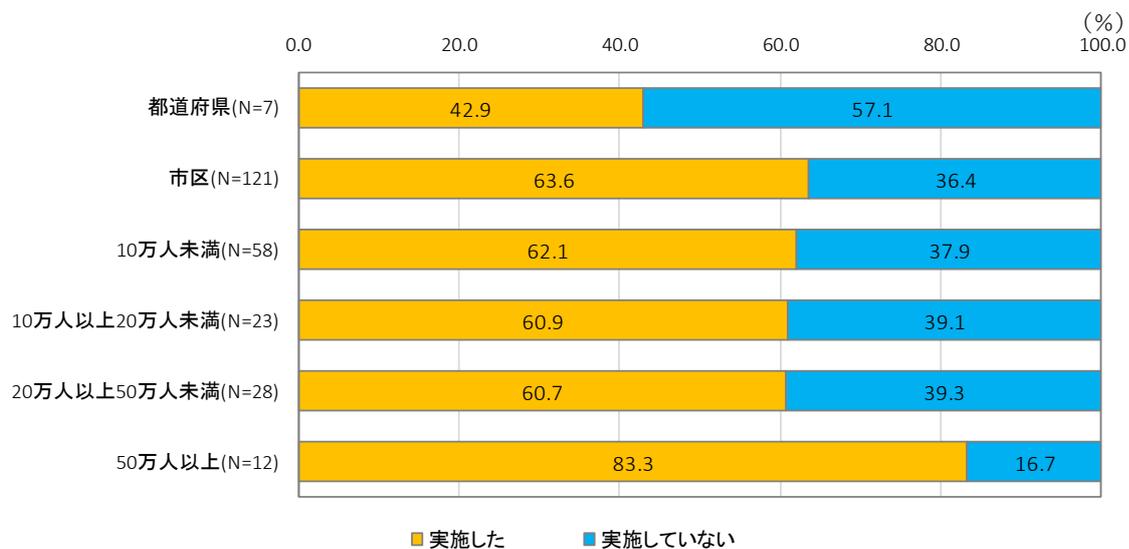


図 人口規模別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

②授業の実施主体

((1) で「1」(学校の授業の一環として実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

○「貴自治体が学校に依頼して実施」が37.5%と最も多く、次いで「出前講座として学校からの依頼に対応」が33.8%となっている。

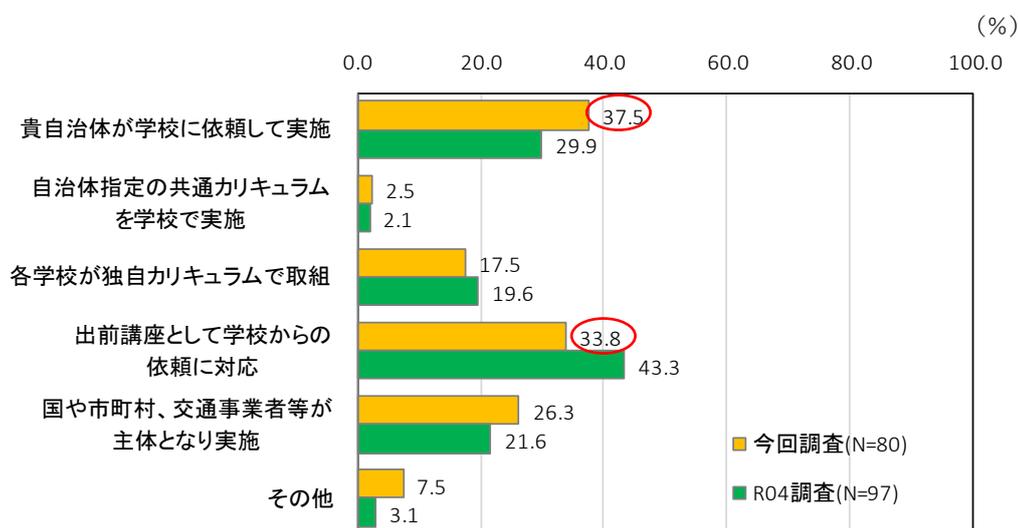


図 授業の実施主体

	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が学校に依頼して実施	30	37.5	29	29.9	24	29.6
自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施	2	2.5	2	2.1	3	3.7
各学校が独自カリキュラムで取組	14	17.5	19	19.6	24	29.6
出前講座として学校からの依頼に対応	27	33.8	42	43.3	36	44.4
国や市町村、交通事業者等が主体となり実施	21	26.3	21	21.6	7	8.6
その他	6	7.5	3	3.1	8	9.9
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	80	100.0	97	100.0	81	100.0

■「その他」の内容

- ・国と市地域公共交通協議会の共催
- ・市交通政策課と教育委員会が協力して実施
- ・交通対策協議会主催(交通安全関係)
- ・実施にあたっては交通事業者に資料作成及び講師をしていただいた

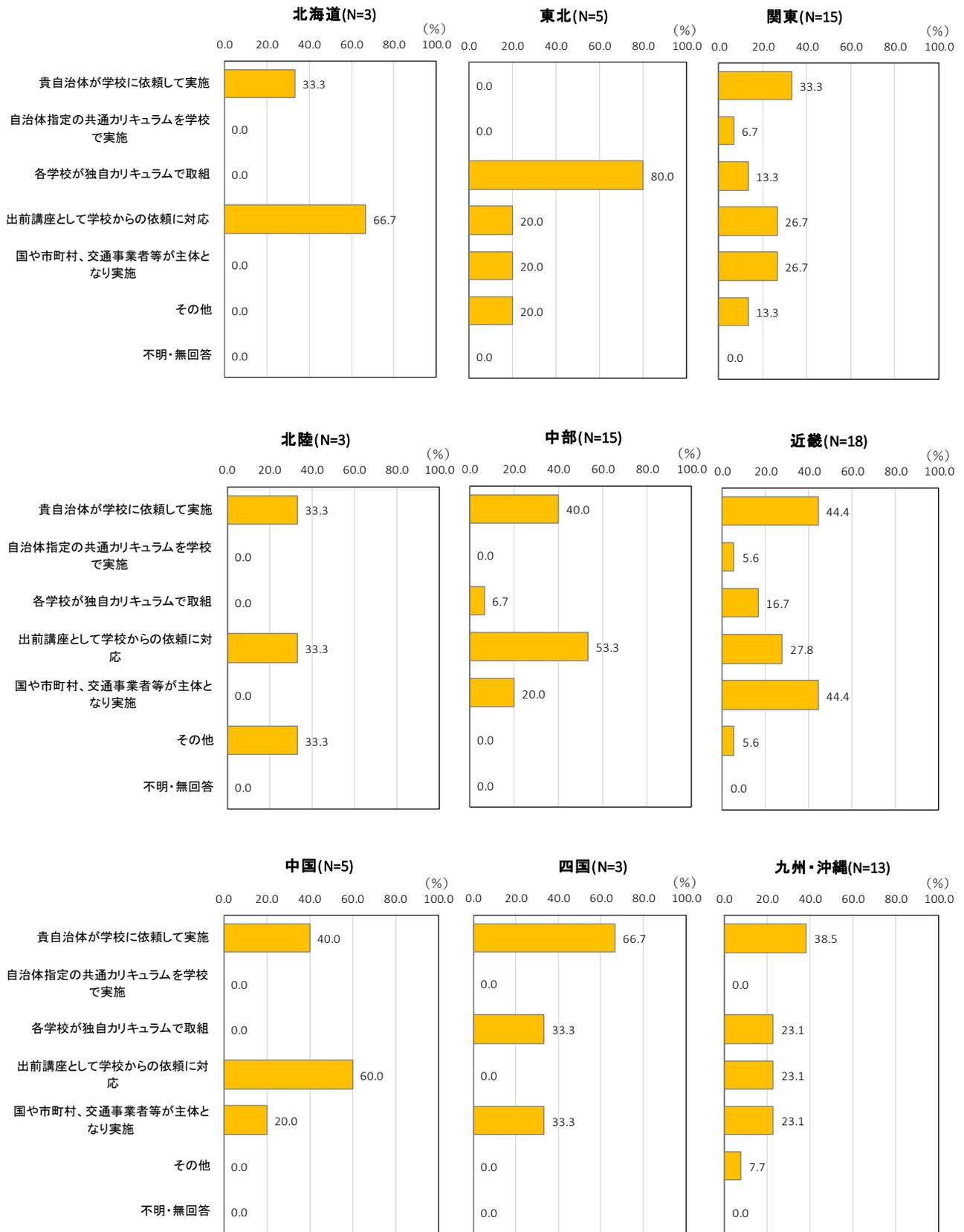


図 地方別 授業の実施主体（複数回答）

③授業以外の実施（自由記述）

(2) 学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

- 学校の授業以外での実施形式に関する回答は55件あった。
- 最も多かったのは「バスまつり、イベント」で38件あった。

表 学校の授業以外での実施形式

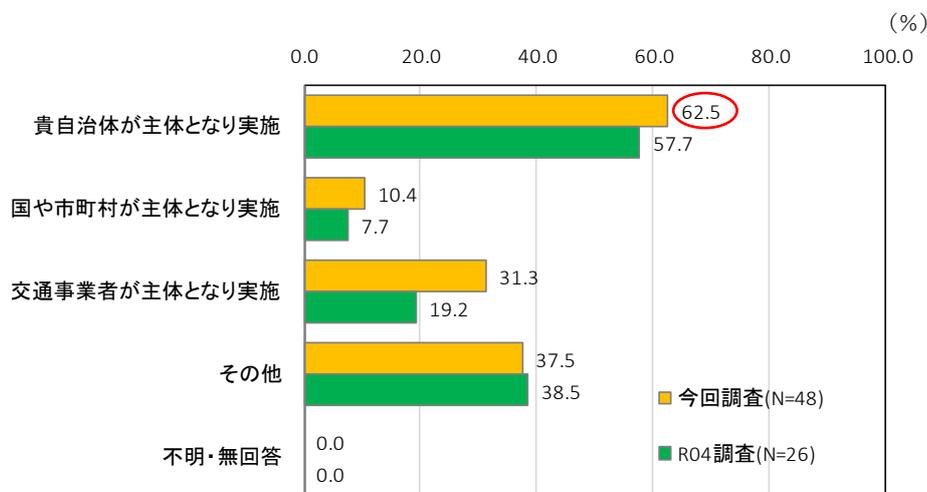
分類項目	件数(件)
バスまつり、イベント	38
学校以外（地域や幼稚園、保育園）への出前講座	6
学校行事や校外学習	5
生涯学習、住民向け講座	3
無料乗車券の配布、無料乗車体験の実施	3

④授業以外の実施主体

((2) (学校の授業以外での形式) でご回答いただいた方にお伺いします。)

副問 (2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

- 「貴自治体が主体となり実施」が62.5%と最も多くなっている。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が主体となり実施	30	62.5	15	57.7	17	68.0
国や市町村が主体となり実施	5	10.4	2	7.7	0	0.0
交通事業者が主体となり実施	15	31.3	5	19.2	2	8.0
その他	18	37.5	10	38.5	9	36.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	2	8.0
合計 (回答対象件数)	48	100.0	26	100.0	25	100.0

図 授業以外の実施主体

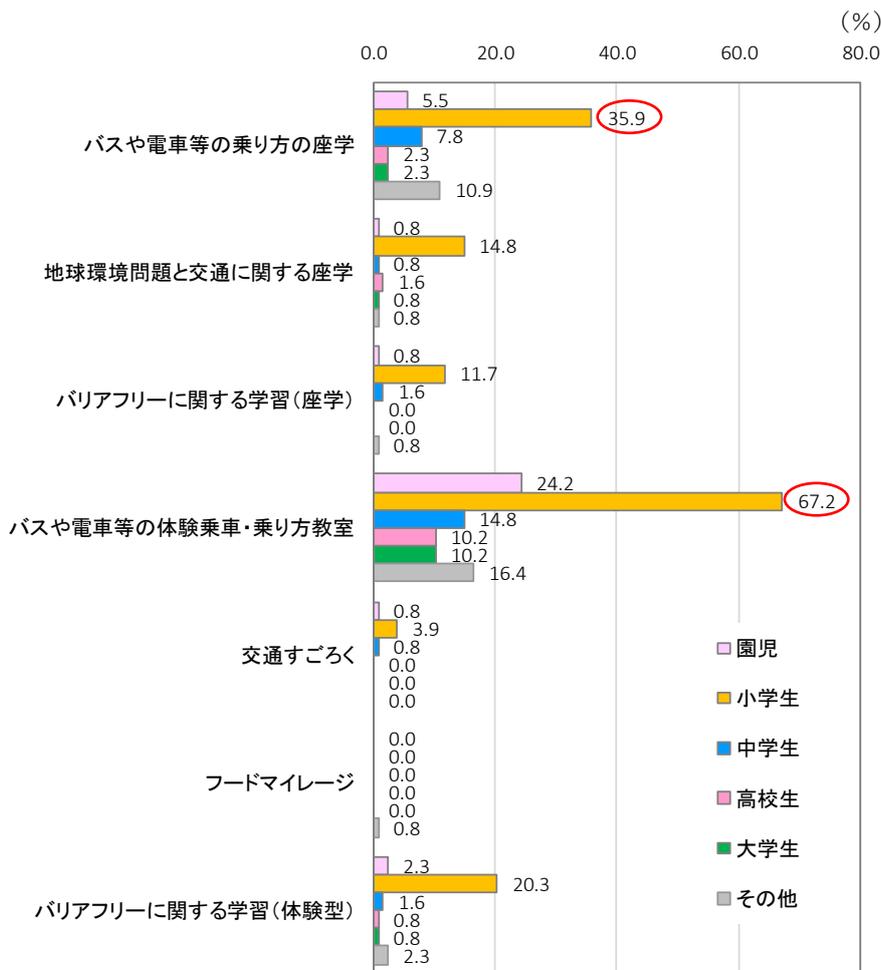
■「その他」の内容

- ・地域交通活性化協議会、鉄道の活性化協議会（4件）
- ・地域団体、民間団体等（5件）
- ・バス協会、交通事業者等（3件）
- ・学校（3件）
- ・商工会議所、社会福祉協議会など（3件）

⑤実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

○小学生を対象とした「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が67.2%と最も多く、次いで「バスや電車等の乗り方の座学」が35.9%となっている。園児やその他を対象とした「体験乗車・乗り方教室」、小学生を対象とした「バリアフリーに関する学習（体験型）」も多くなっている。



	回答者数(件)							実施団体数	構成比(%)								
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	7	46	10	3	3	14	69	128	5.5	35.9	7.8	2.3	2.3	10.9	53.9	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	1	19	1	2	1	1	104	128	0.8	14.8	0.8	1.6	0.8	0.8	81.3	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	1	15	2	0	0	1	112	128	0.8	11.7	1.6	0.0	0.0	0.8	87.5	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	31	86	19	13	13	21	33	128	24.2	67.2	14.8	10.2	10.2	16.4	25.8	100.0
	交通すごろく	1	5	1	0	0	0	123	128	0.8	3.9	0.8	0.0	0.0	0.0	96.1	100.0
	フードマイレージ	0	0	0	0	0	1	127	128	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	99.2	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	3	26	2	1	1	3	101	128	2.3	20.3	1.6	0.8	0.8	2.3	78.9	100.0
その他	その他1	8	19	11	10	5	9	101	128	6.3	14.8	8.6	7.8	3.9	7.0	78.9	100.0
	その他2	3	6	4	3	3	3	121	128	2.3	4.7	3.1	2.3	2.3	2.3	94.5	100.0

図 「交通環境学習」の対象者と内容

■「その他」の内容

- ・ 3年生社会科（市の様子や移り変わり）
- ・ 交通安全について
- ・ 県内の公共交通の現状と取組みの座学
- ・ 公共交通についての座学
- ・ 市役所の役割（税金、予算議会など）を通じてバス交通に関する座学
- ・ 中学校2年生が社会科（地理）で学習する「地域の在り方」の中で、独自の授業モデルを用い、市の交通政策について授業を実施いただいた。
- ・ 市内の公共交通について
- ・ マナークイズ
- ・ これからの「バス」の話をしよう
- ・ 5年生社会科（情報を生かす産業）
- ・ 電車やバス等公共交通で行く観光紹介
- ・ 公共交通マップ配布、万葉線1日フリーきっぷ配布
- ・ 万葉線無料乗車券の配布
- ・ 啓発品の配布
- ・ バスに絵を描いてもらい、バスを身近に感じてもらう
- ・ イベントでのPRブースの出展
- ・ バスのペーパークラフトを作製するワークショップ
- ・ 市の公共交通への取り組みについての座学
- ・ 謎解きゲーム
- ・ バスバックヤードツアー
- ・ バス車両のイラスト作成（ラッピング車両に直接描く）
- ・ 市営バスの車庫見学
- ・ 市内バスターミナルの案内
- ・ 電気自動車の見学
- ・ 運輸事業者の見学会
- ・ 電車の運転体験、整備場見学等
- ・ 車両展示・車内見学
- ・ 乗務員体験
- ・ EVバスの見学
- ・ 整備工場見学等
- ・ 学生向けの紹介
- ・ 車両展示、バス交通PR
- ・ バスに関するパネル展示
- ・ 合格発表会場での公共交通紹介

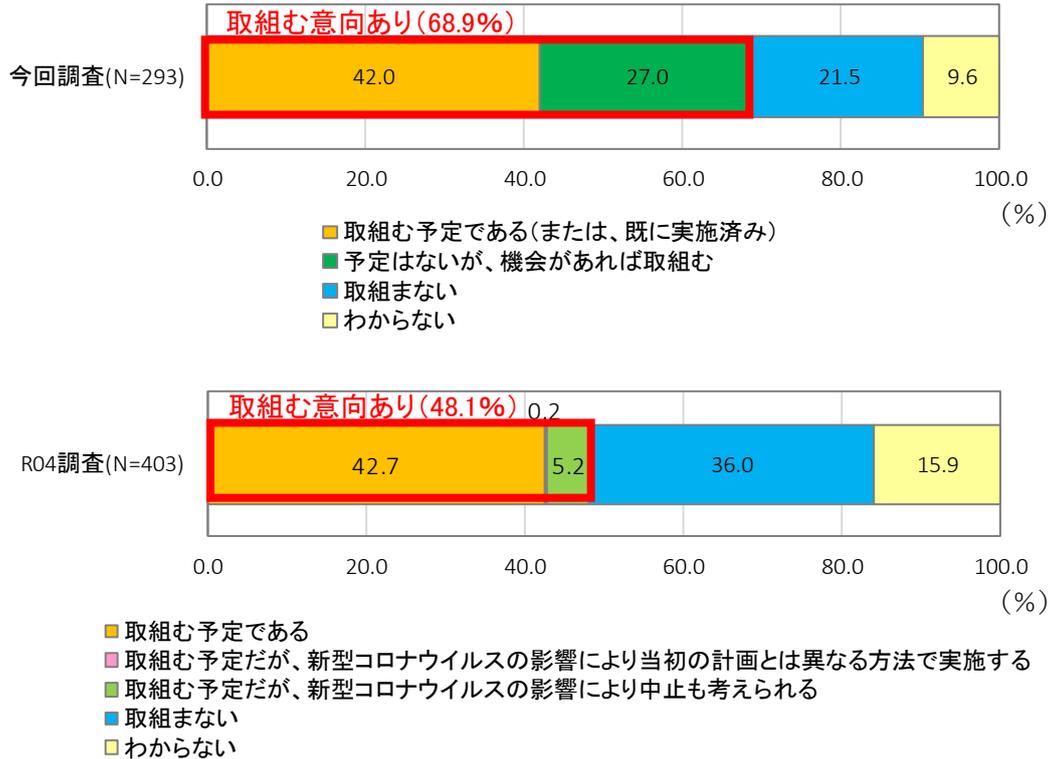
(2) 今後の「交通環境学習」について

① 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問4 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和5年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

○「取り組む予定である」は42.0%で昨年度より0.7ポイント減少している。「予定はないが、機会があれば取り組む」と回答したものも含めると、68.9%が取り組む意向があると回答している。



	今回調査		R04 調査		R03 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である（または、既に実施済み）	123	42.0	172	42.7	122	27.5
取り組む予定（または、既に実施済み）だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施	-	-	1	0.2	5	1.1
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	-	-	21	5.2	41	9.2
予定はないが、機会があれば取り組む	79	27.0	-	-	-	-
取組まない	63	21.5	145	36.0	173	39.0
わからない	28	9.6	64	15.9	100	22.5
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	3	0.7
合計	293	100.0	403	100.0	444	100.0
取り組む予定あり	202	68.9	194	48.1	168	37.8

図 「交通環境学習」に取り組む予定

R04
調査
のみ

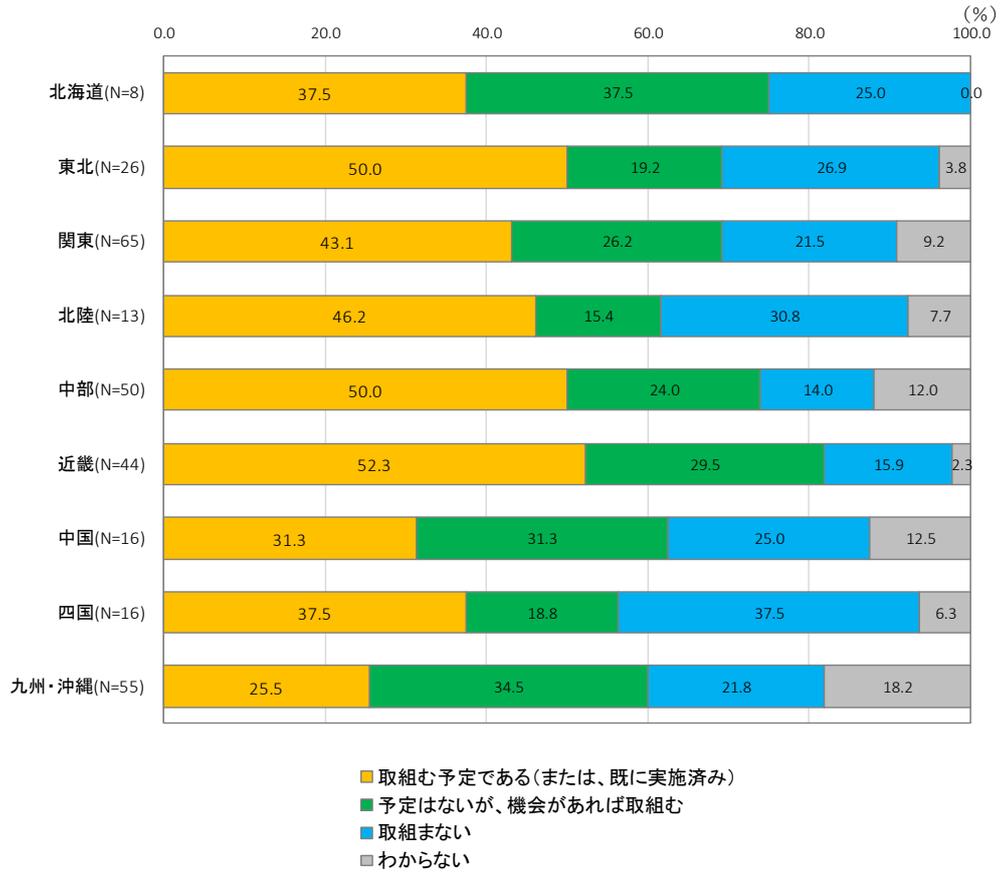


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

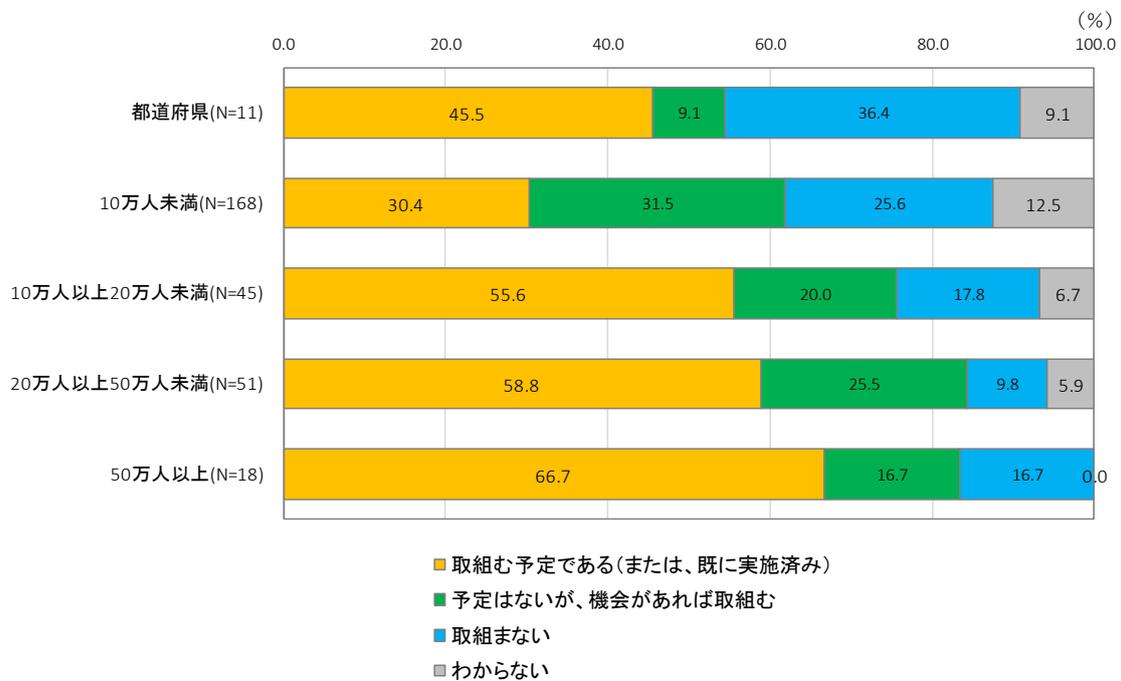
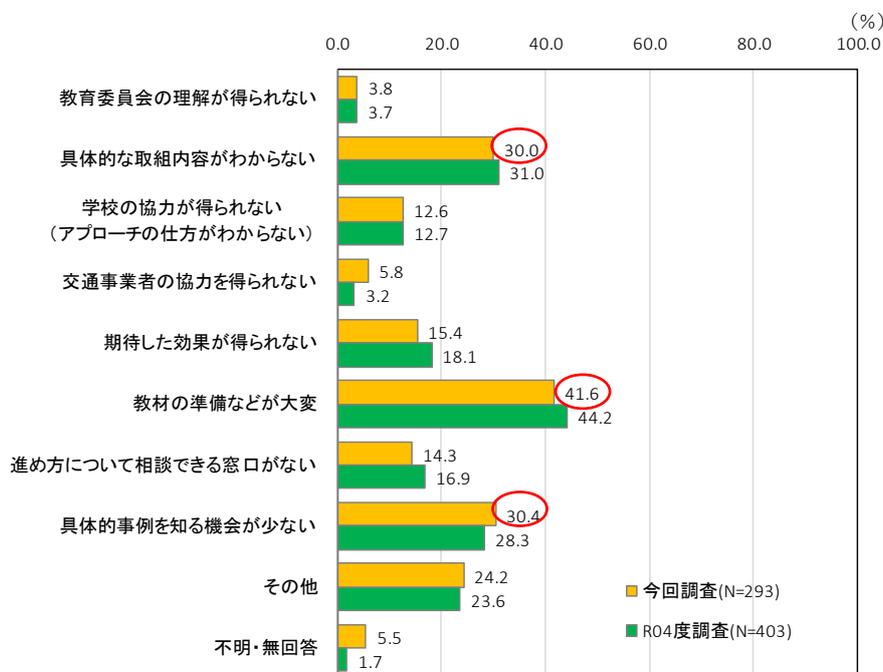


図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

② 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「教材の準備などが大変」が41.6%と最も高く、次いで「具体的事例を知る機会が少ない」が30.4%、「具体的な取組内容がわからない」が30.0%となっている。



	今回調査		R04度調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)
教育委員会の理解が得られない	11	3.8	15	3.7	18	4.1
具体的な取組内容がわからない	88	30.0	125	31.0	147	33.1
学校の協力が得られない (アプローチの仕方がわからない)	37	12.6	51	12.7	67	15.1
交通事業者の協力を得られない	17	5.8	13	3.2	17	3.8
期待した効果が得られない	45	15.4	73	18.1	80	18.0
教材の準備などが大変	122	41.6	178	44.2	175	39.4
進め方について相談できる窓口がない	42	14.3	68	16.9	68	15.3
具体的事例を知る機会が少ない	89	30.4	114	28.3	145	32.7
その他	71	24.2	95	23.6	107	24.1
不明・無回答	16	5.5	7	1.7	7	1.6
合計 (回答対象件数)	293	100.0	403	100.0	444	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

■「その他」の主な項目

分類項目	件数（件）
担当課の人手不足、担当部署や体制がない	27
効果の把握方法	9
要望や応募がない、募集方法	7
運転士の不足	6
関係機関との調整・学校や教育委員会の理解	5
予算の確保	4
授業時間が確保できない	3
継続に向けたスキーム作り、人材確保	2
スペースや車両数の不足	2
課題や障壁はない・把握していない	2
その他	4

○人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「教材の準備などが大変」の割合が高く
 なっている。10万人未満では、「具体的な取組み内容がわからない」、「具体的事例を知る機会
 がない」も多く挙げられている。

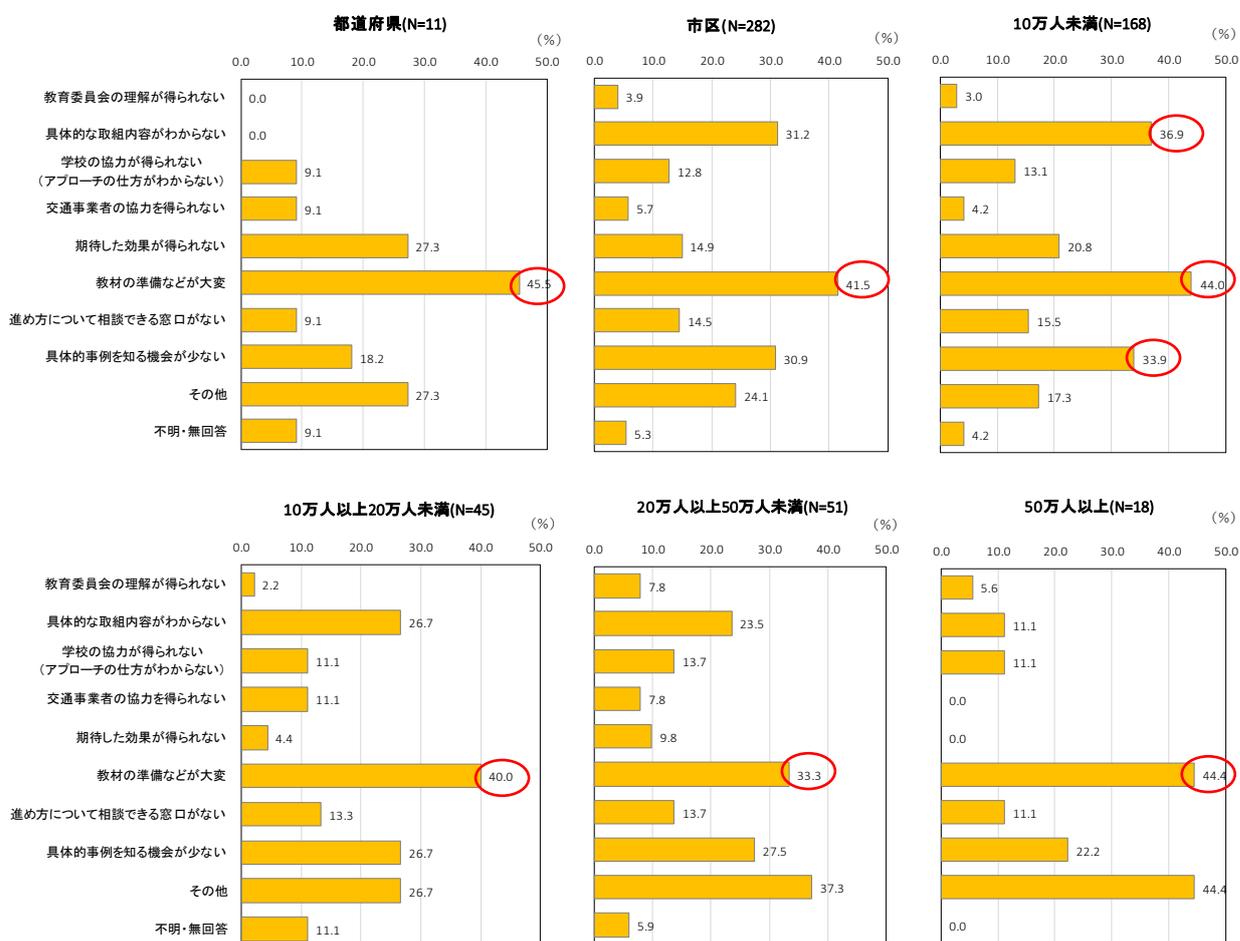


図 人口規模別「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

③ 「交通環境学習」に取り組む場合に予想される問題点や支援してほしい事柄（自由記述）

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援してほしい事柄などについて、具体的に教えてください。

○取組に向けて予想される問題点や支援してほしい内容について、下記の分類項目で自由意見を整理した。問題や課題に関する意見が106件あり、うち「担当課の人手不足」に関することが最も多く22件の意見があった。また、「学校や教育委員会の理解・協力・調整」に関連する意見も19件あった。

○支援してほしい事柄に関する意見は64件で、「学習プログラム・教材・ノベルティの提供」「事例紹介」に関する意見が多く挙げられた。

※なお、ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

表 取組に向けて予想される問題点や支援要望内容（自由記述内容）

分類項目	件数(件)
予想される問題や課題	106
担当課の人手不足・時間の確保	22
学校や教育委員会の理解・協力・調整	19
学習内容・教材の検討	14
交通事業者の人員不足	11
予算の確保	10
効果への疑問・効果のわかりにくさ	8
交通事業者との調整	7
ノウハウ不足	5
公共交通が身近でない・環境が整っていない	5
実施校・参加者の確保	4
その他	1
支援してほしい事柄	64
学習プログラム・教材・ノベルティの提供	17
事例紹介	16
ノウハウ提供、相談体制、研修会	12
費用負担・補助	7
講師等人員の派遣	4
学習効果の提示	4
その他	4

2 教育委員会向けアンケート

2.1 調査の目的

全国の教育委員会を主体としたにおける交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

2.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 5 年 10 月 16 日（月）～令和 5 年 11 月 17 日（金）

2.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 54 件（6.3%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	43	79.6
FAX		9	16.7
メール		2	3.7
総計	862	54	100.0

<参考> 過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査を同様

	令和 4 年度調査		令和 3 年度調査		令和 2 年度調査		令和元年度調査	
	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	43	79.6	92	82.9	70	73.7	60	60.0
FAX	9	16.7	12	10.8	20	21.1	33	33.0
メール	2	3.7	7	6.3	5	5.3	7	7.0
有効回収件数	54	100.0	111	100.0	95	100.0	100	100.0
	回収率 6.3%		回収率 12.9%		回収率 11.0%		回収率 11.6%	

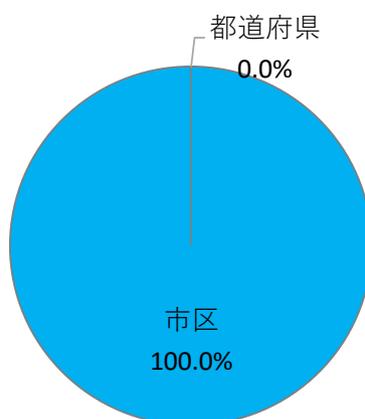
2.4 調査項目及び調査票の設計

アンケート調査項目は、新型コロナウイルスが令和5年5月から5類感染症となったことを受け、昨年度まで設定していた新型コロナウイルスの影響に関する選択肢及び設問（問1の昨年度の「交通環境学習」の実施状況、問5の今年度の「交通環境学習」の取組み状況について）を削除した。

2.5 調査結果

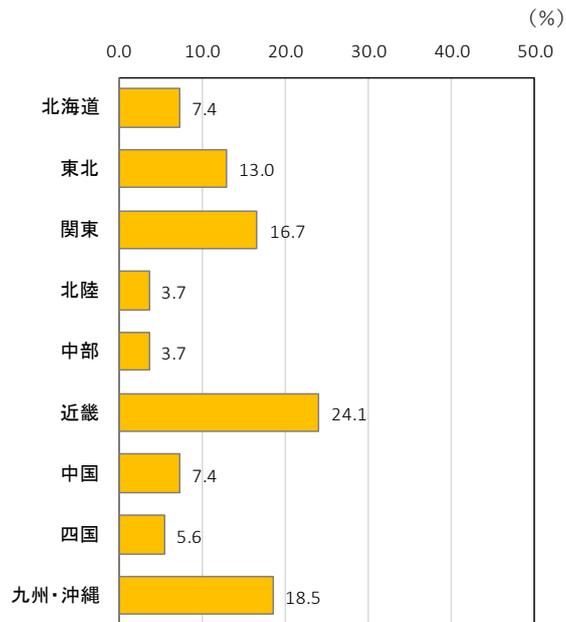
■回答者について

- 「市区」から54件の回答を得た。都道府県からの回答はなかった。
- 構成比を地域別に見ると、「近畿」が24.1%、「九州・沖縄」が18.5%と多くなっている。
- 人口規模別に見ると、「10万人未満」が68.5%と最も多く、次いで「20万人以上50万人未満」が18.5%となっている。



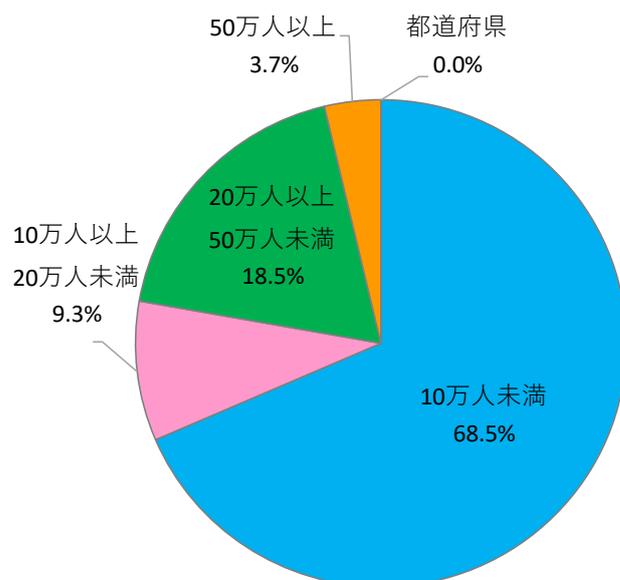
	今回調査		R04度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	0	0.0	3	2.6
市区	54	100.0	113	97.4
合計	54	100.0	116	100.0

図 都道府県/市区の内訳



	今回調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	4	7.4	6	5.2
東北	7	13.0	15	12.9
関東	9	16.7	21	18.1
北陸	2	3.7	7	6.0
中部	2	3.7	19	16.4
近畿	13	24.1	22	19.0
中国	4	7.4	8	6.9
四国	3	5.6	10	8.6
九州・沖縄	10	18.5	8	6.9
合計	54	100.0	116	100.0

図 地方種別



	今回調査		R04 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	0	0.0	3	2.6
10万人未満	37	68.5	82	70.7
10万人以上 20万人未満	5	9.3	21	18.1
20万人以上 50万人未満	10	18.5	9	7.8
50万人以上	2	3.7	1	0.9
合計	54	100.0	116	100.0

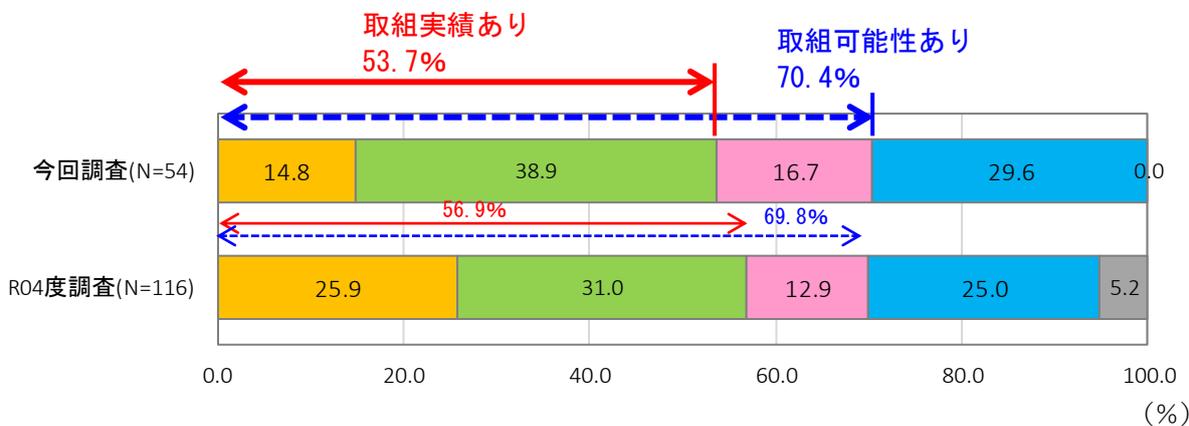
図 人口規模別

(1) 「交通環境学習」の取組状況

1) 「交通環境学習」の取組状況

問1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和4年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

- 交通環境学習の取組状況は、「一部の学校で、授業に取り入れている」が38.9%、「全学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている」が14.8%、「今は取組んでいないが、今後授業に取り入れることは可能」が16.7%、「授業に取り入れることは難しい」が29.6%、となっている。
- 全学校または一部で授業を行っている取組実績のある教育委員会は53.7%で、昨年度調査と比較して3.2ポイント減少している。
- 取組実績のある教育委員会及び、今後授業に取り入れることは可能な取組可能性のある教育委員会は70.4%と、昨年度から0.6ポイント増加している。



- 全学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている
- 一部の学校で、授業に取り入れている
- 今は取組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能
- 授業に取り入れることは難しい
- R04のみ** ■ 過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった

	今回調査		R04度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組実績あり	取組実績あり			
	取組可能性あり			
	R04のみ			
全小学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている	8	14.8	30	25.9
一部の小学校で、授業に取り入れている	21	38.9	36	31.0
今は取組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能	9	16.7	15	12.9
授業に取り入れることは難しい	16	29.6	29	25.0
過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった	-	-	6	5.2
合計	54	100.0	116	100.0

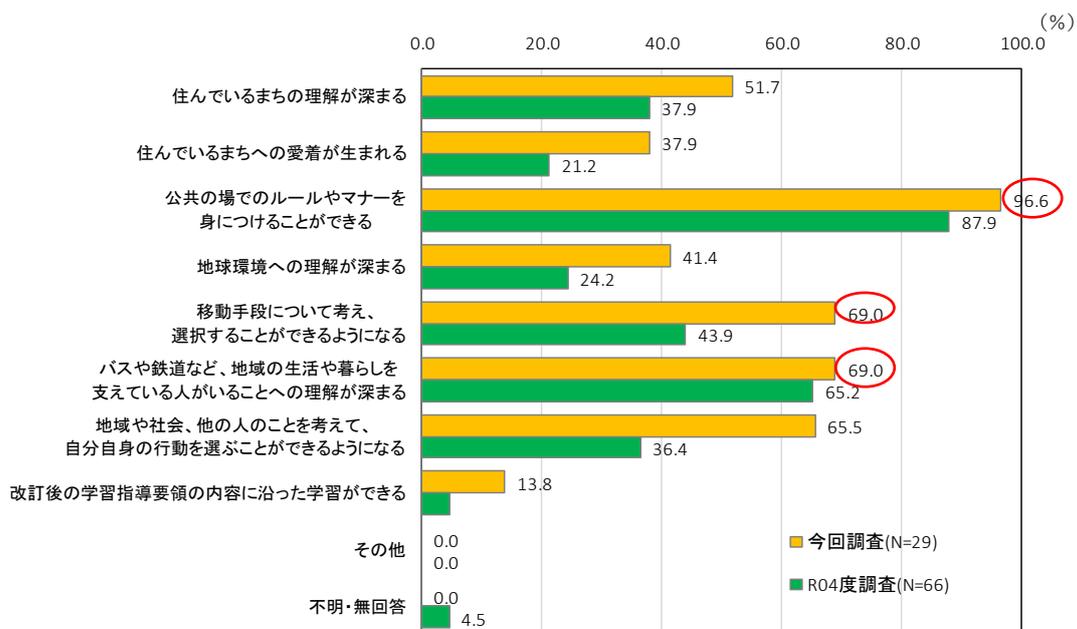
図 「交通環境学習」の取組状況

2) 交通環境学習の効果

(問1で「全小学校で交通環境学習を取り入れた授業を行っている」「一部の小学校で、授業に取り入れている」と回答した教育委員会のみ)

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか。

○「公共の場でのルールやマナーを身に付けることができる」が96.6%と最も多く、次いで「移動手段について考え、選択することができるようになる」、「バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる」がそれぞれ69.0%となった。



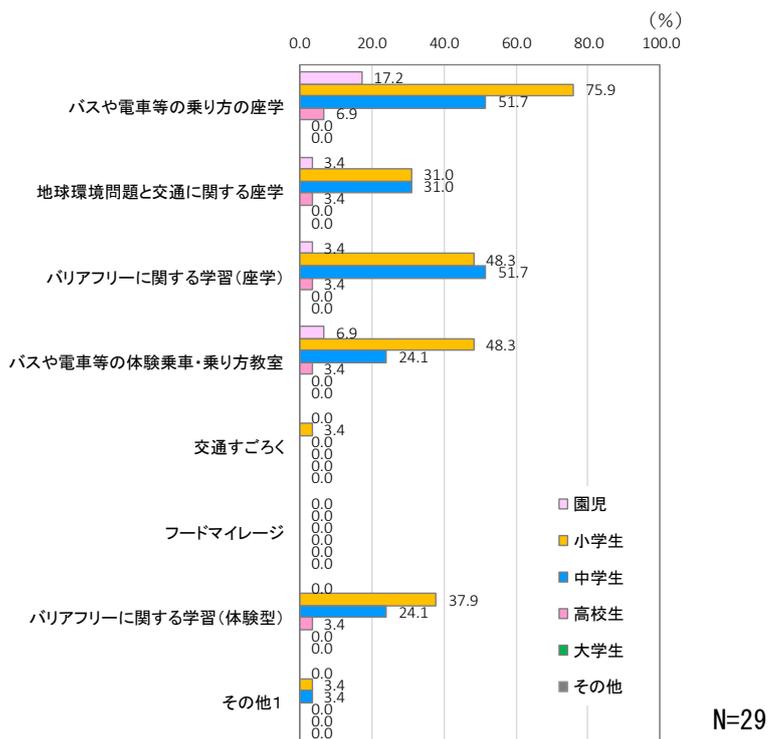
	今回調査		R04 調査		R03 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
住んでいるまちの理解が深まる	15	51.7	25	37.9	22	42.3
住んでいるまちへの愛着が生まれる	11	37.9	14	21.2	15	28.8
公共の場でのルールやマナーを身に付けることができる	28	96.6	58	87.9	49	94.2
地球環境への理解が深まる	12	41.4	16	24.2	15	28.8
移動手段について考え、選択することができるようになる	20	69.0	29	43.9	31	59.6
バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる	20	69.0	43	65.2	29	55.8
地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる	19	65.5	24	36.4	13	25.0
改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる	4	13.8	3	4.5	2	3.8
その他	0	0.0	0	0.0	1	1.9
不明・無回答	0	0.0	3	4.5	0	0.0
合計(回答対象者数)	29	100.0	66	100.0	52	100.0

図 「交通環境学習」に期待する効果（複数回答）

3)実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

- 小学生を対象とした「バスや電車等の乗り方の座学」が75.9%、中学生を対象とした「バスや電車等の乗り方の座学」及び「バリアフリーに関する学習(座学)」がそれぞれ51.7%と多くなっている。
- 小学生でみると、「地球環境問題と交通に関する座学」は31.0%、「バリアフリーに関する学習(体験型)」は37.9%となっている。



	回答者数 (件)							実施団体数	構成比 (%)								
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	5	22	15	2	0	0	6	29	17.2	75.9	51.7	6.9	0.0	0.0	20.7	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	1	9	9	1	0	0	18	29	3.4	31.0	31.0	3.4	0.0	0.0	62.1	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	1	14	15	1	0	0	12	29	3.4	48.3	51.7	3.4	0.0	0.0	41.4	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	2	14	7	1	0	0	13	29	6.9	48.3	24.1	3.4	0.0	0.0	44.8	100.0
	交通すごろく	0	1	0	0	0	0	28	29	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6	100.0
	フードマイレージ	0	0	0	0	0	0	29	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	0	11	7	1	0	0	18	29	0.0	37.9	24.1	3.4	0.0	0.0	62.1	100.0
その他	その他1	0	1	1	0	0	0	28	29	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	96.6	100.0
	その他2	0	0	0	0	0	0	29	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

図 「交通環境学習」の対象者と内容

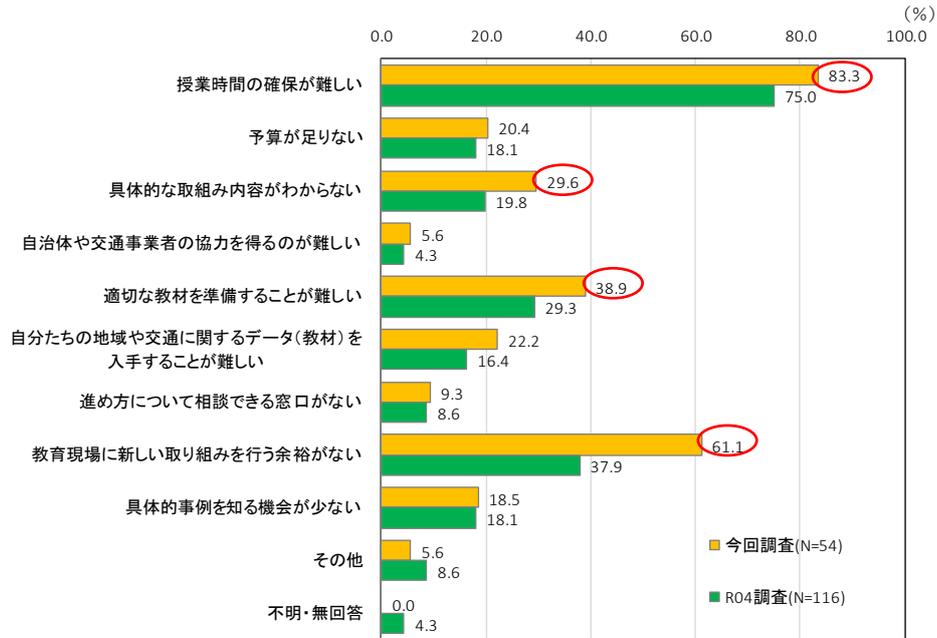
■その他の内容
 ・校外学習

(2) 今後の「交通環境学習」について

1) 「交通環境学習」の課題や障壁

問4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「授業時間の確保が難しい」が83.3%と多数を占めた。次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」が61.1%、「適切な教材を準備することが難しい」が38.9%、「具体的な取組み内容がわからない」が29.6%となっている。



	今回調査		R04 調査		R03 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
授業時間の確保が難しい	45	83.3	87	75.0	79	76.7
予算が足りない	11	20.4	21	18.1	21	20.4
具体的な取組み内容がわからない	16	29.6	23	19.8	27	26.2
自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい	3	5.6	5	4.3	3	2.9
適切な教材を準備することが難しい	21	38.9	34	29.3	41	39.8
自分たちの地域の交通やデータ(教材)を入手することが難しい	12	22.2	19	16.4	17	16.5
進め方について相談できる窓口がない	5	9.3	10	8.6	5	4.9
教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない	33	61.1	44	37.9	51	49.5
具体的事例を知る機会が少ない	10	18.5	21	18.1	18	17.5
その他	3	5.6	10	8.6	10	9.7
不明・無回答	0	0.0	5	4.3	1	1.0
合計(回答対象者数)	54	100.0	116	100.0	103	100.0

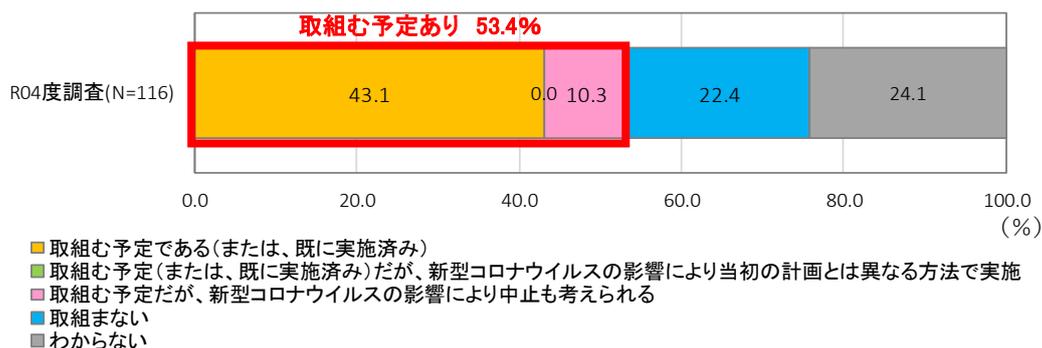
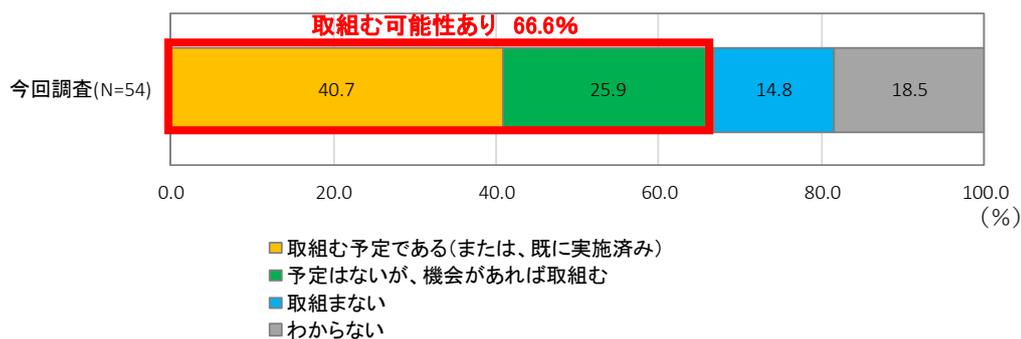
図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

2) 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問5 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1)今年度（令和5年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に行いましたか？）（1つに○）

- 「取り組む予定（または実施済み）」としているのは40.7%で、昨年度よりも2.4ポイント減少している。
- 「予定はないが、機会があれば取り組む」としているのは25.9%となっている。
- 「わからない」が18.5%、「取り組まない」が14.8%となっている。



R04調査のみ

	今回調査		R04度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である	22	40.7	50	43.1
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する	-	-	0	0.0
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	-	-	12	10.3
予定はないが、機会があれば取り組む	14	25.9	-	-
取り組まない	8	14.8	26	22.4
わからない	10	18.5	28	24.1
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	54	100.0	116	100.0
取り組む可能性あり/取り組む予定あり	36	66.6	62	53.4

図 「交通環境学習」に取り組む予定

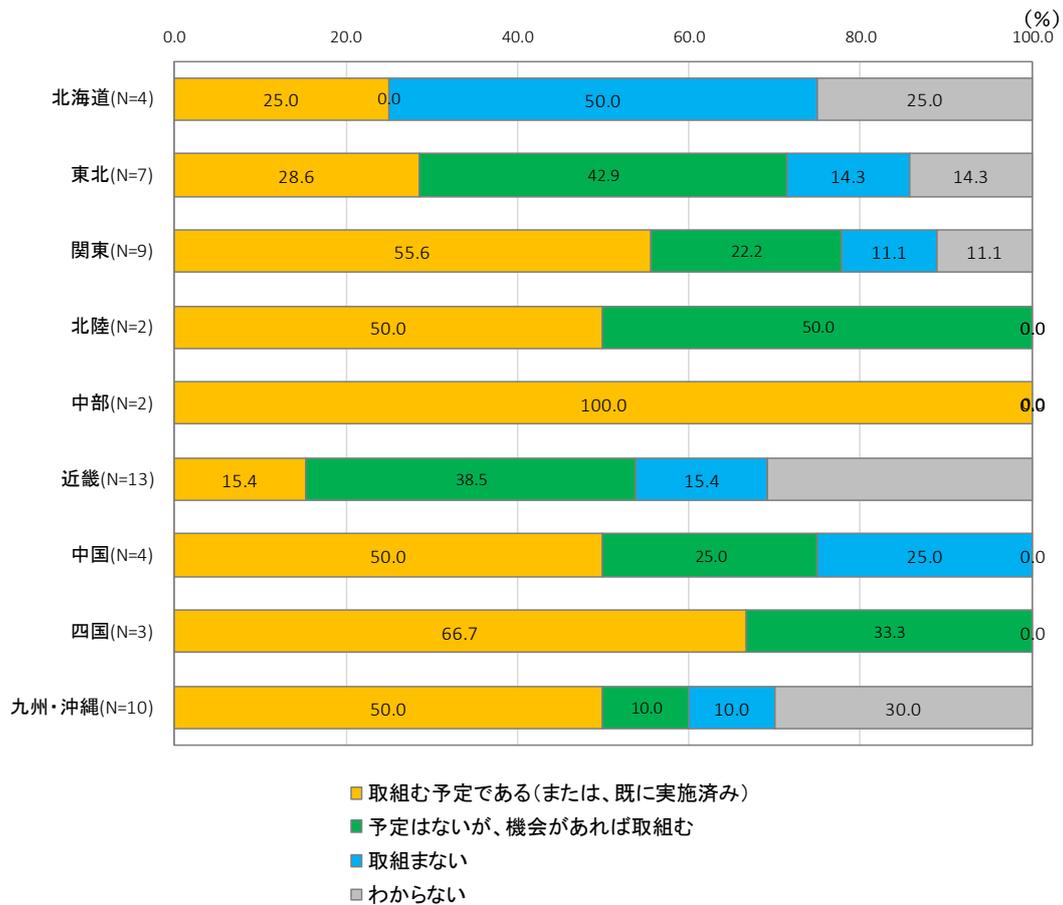


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

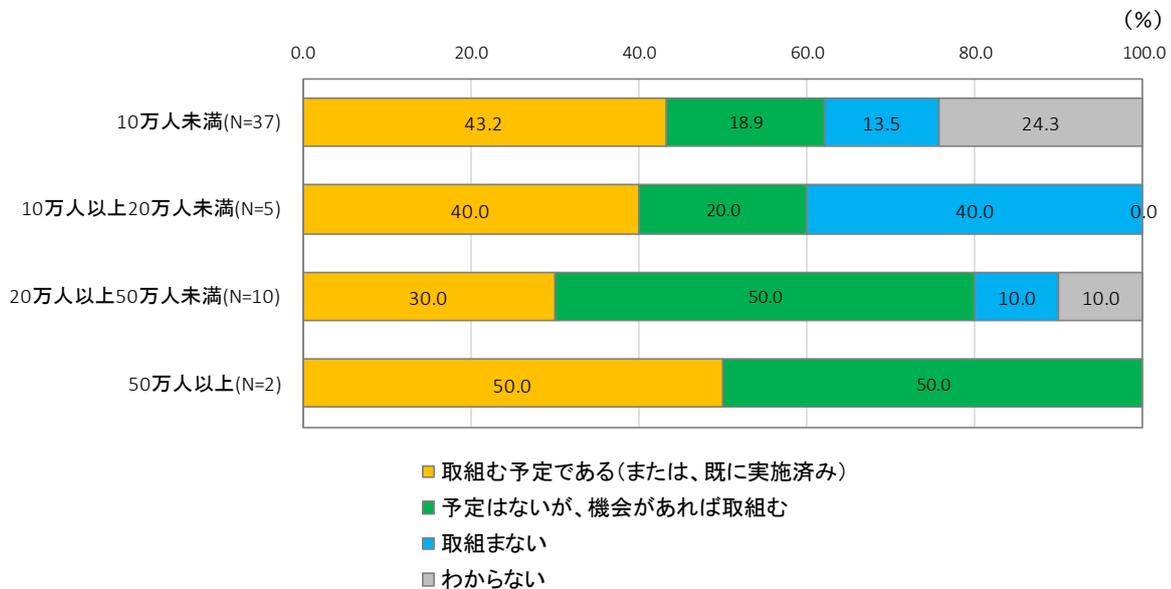


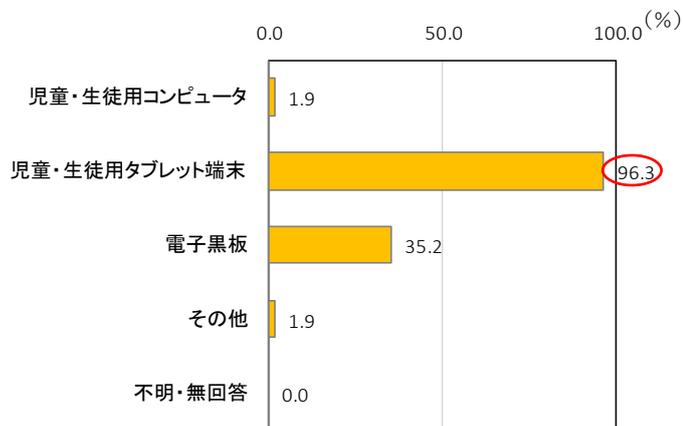
図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

(3) 「交通環境学習」の普及・推進について

1) デジタル機器の活用状況について

問6 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

○ 「児童・生徒用タブレット端末」が96.3%と最も高い回答を得た。



	回答数 (件)	構成比 (%)
児童・生徒用コンピュータ	1	1.9
児童・生徒用タブレット端末	52	96.3
電子黒板	19	35.2
その他	1	1.9
不明・無回答	0	0.0
合計	54	100.0

図 デジタル教材の活用が期待される機器

2) 「交通環境学習」を普及・推進に対する意見について

問7 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む小学校は、全国で少しずつ増えています。

また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。

貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

- 「普及・推進していく上での課題」に関する意見が10件と多く、その中でも「カリキュラム、時間的余裕がない」といった内容が最も多かった。また、「公共交通が身近にない、利便性が低い」ことに課題を感じている教育委員会も複数挙げられた。
- 「交通環境学習の効果、重要性」は9件、「交通環境学習に期待すること」は6件と、交通環境学習に意欲的な意見も挙げられた。「今後検討する」とした回答は8件であった。

表 交通環境学習の普及・推進に関する意見

分類項目	件数（件）
普及・推進していく上での課題	10
カリキュラム、時間的余裕がない	7
公共交通が身近にない、利便性が低い	3
交通環境学習の効果、重要性	9
今後検討する	8
取組に関する工夫	6
交通環境学習に期待すること	6
その他	3
回答件数	52

3 アンケート調査結果のまとめと今後の課題

(1) アンケート調査結果のまとめ

①都道府県・市を対象としたアンケート

- ・本年度調査において回答を得た 293 自治体における、昨年度の交通環境学習の実施状況は 43.7% で、昨年度より 13.2 ポイント増加した。新型コロナウイルスが 5 類感染症となったことにより、これまで開催が見送られてきたイベント等が再開したことが影響していると考えられる。
- ・昨年度は実施していないもののこれまでに実施したことがある団体もあわせると、交通環境学習の実施経験のある団体は 57.7% となり、昨年度調査に比べ 0.9 ポイント増加した。
- ・交通環境学習を継続的に実施できる理由として、「効果が期待できる」が 50.0%、「学校からの要請がある」「自治体の方針や計画に位置付けられている」が 45.0%であった。
- ・交通環境学習に期待する効果としては、「公共交通の利用促進・利用者増」を挙げている団体が最も多い結果であった。
- ・昨年度交通環境学習に取り組んでいない団体における取組まなかった理由としては、「担当部課の人手不足」を挙げた団体が最も多く、次いで「教材の作成や準備が大変」、「取組方法が分からない」といった理由であった。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が 42.0%と、昨年度より 0.7 ポイント減少した結果となった。一方で、27.0%の自治体が「予定はないが、機会があれば取組む」と回答しており、これをあわせると、68.9%の自治体に取り組む意向があると回答している。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「教材の準備などが大変」、「具体事例を知る機会がない」「具体的な取組内容がわからない」との回答が多くなっている。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上で予想される問題点としては、「担当課の人手不足」「学校や教育委員会の理解・協力・調整」に関する意見が多く、自治体、学校共に交通環境学習に取り組む人員や時間的な余裕がないといった課題が明らかになった。また、「交通事業者の人員不足」として、バス運転手の不足により体験乗車やイベントへの協力が得られにくくなることが今後の課題として挙げられた。

②教育委員会を対象としたアンケート

- ・回答のあった教育委員会（54 件）が所管する学校での交通環境学習の実施状況について、取組実績があったのは 53.7%となった。
- ・教育委員会が考える交通環境学習の効果としては、「公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる」が最も多かった。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「授業時間の確保が難しい」が最も多く、次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」、「適切な教材を準備することが難しい」が挙げられ、昨年度とほぼ同様の結果となった。自治体のみならず、教育委員会からも授業時間の確保や教材に関する課題が挙げられた。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、「取り組む予定である」が 40.7%、「予定はないが、機会があれば取組む」が 25.9%で、取組む可能性がある自治体は 66.6%と昨年度より 13.2 ポイント増加している。

- ・「交通環境学習」を普及・推進することに対する意見については、課題として「カリキュラム、時間的余裕がない」が多く挙げられているものの、SDGsなどの視点も含めた交通環境学習の効果や、公共交通の重要性を理解する上で効果的な取組であるという意見が挙げられている。

(2) 今後の課題

- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題として、都道府県・市、教育委員会いずれにおいても、人手不足から実施が難しい点が挙げられた。さらに、今後はバス運転手の不足が見込まれ、乗り方教室やイベント等へのバス事業者の協力が得られにくくなることも懸念されている。交通環境学習の実施のためには、各者の負担ができるだけ少なくなるよう、具体事例や企画・調整段階からのノウハウを提供できるような工夫が必要であると考えられる。
- ・支援してほしい事柄として、学習プログラム・教材等の提供が挙げられた。「小学校低学向けの教材準備が難しい」「中・高・大学生向けの取組内容や効果的な手法がわからない」といった意見もあり、対象者の年代の違いに応じた教材や進め方の検討が求められている。また、昨年度の実施方式として、福祉ホームへの訪問や地域の集会所での実施などが挙げられており、交通環境学習の対象の更なる広がりも予想される。
- ・昨年度（令和4年度）の交通環境学習の実施状況は、「実施した」という回答が増加している。一方で、今年度の取組予定については「予定はないが、機会があれば取組む」の回答が多くなっており、取組みのためのきっかけが求められていることがわかる。交通環境学習の効果の提示やSDGsなどとの関連をさらに周知することで、より取組みやすくなるものと考えられる。

参考 1. 自治体向け アンケート調査票

①昨年度取組が確認された自治体向け

調査票 A-1(黄)

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）
ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

交通環境学習の
授業内容例

- ・イベント（バスマつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・この調査票は、**令和4年度実施アンケートで交通環境学習に取組んだと回答された自治体**にお送りしています。
- ・ご回答は、「交通環境学習」の取組内容をご存じのご担当者様、または、公共交通計画等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。
（※本調査票は、過去にアンケートにご回答いただいた部署あてにお送りしていますが、別に該当する部署がありましたら、回答が可能なご担当者様にご転送願います。）
- ・なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月17日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を **FAX 03-5791-1143** まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を **info@mm-education.jp** まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和4年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和4年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）
※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →副問1.1へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問1.2へ

副問1.1 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？（いくつでも）

1. 効果が期待できる
（具体的に期待している効果は何ですか：)
2. 学校や市町村、交通事業者等が主体となって実施している
3. 学校からの要請がある
4. 自治体の方針や計画に位置づけられている
5. その他（具体的に：)

→副問1.1のあとは、問2へ

副問1.2 問1で「2」とお答えの方にお伺いします。

昨年度、「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分からない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に：)

→副問1.2のあとは、4ページの問4へ

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。

(1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

副問 2.1 (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。
授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他(具体的に: _____)

→副問 2.1 のあとは、**問 3** へ

(2) それは、学校の授業以外では、どのような形(フォーラム、バスまつりなど)で実施しましたか?

具体的に:

副問 2.2 (2)でご回答いただいた方にお伺いします。

(2)でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他(具体的に: _____)

→副問 2.2 のあとは、**問 3** へ

問 3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？(枠内の該当する部分に○をご記入ください)

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習(座学)						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習(体験型)						
その他	(具体的に: _____)						
	(具体的に: _____)						

※1 交通すごろく: すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ: 買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

問 4 今年度（令和5年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

1. 取り組む予定である（または、既に実施済み）
2. 予定はないが、機会があれば取り組む
3. 取り組まない
4. わからない

問 5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)

問 6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

最後にご回答者様についてご記入ください。

■ 貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署			
氏名		役職			
TEL		FAX		e-mail	

交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら→<http://mm-education.jp/magazine.html>)

はい いいえ

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月17日(金)**までに、
インターネット、メール、FAX のいずれかで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<http://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、
「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

交通環境学習の
授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・ バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含まれます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ この調査票は、**令和4年度実施アンケートで交通環境学習に取組んでいないと回答された自治体または回答がなかった自治体**にお送りしています。
- ・ ご回答は、「交通環境学習」の取組内容をご存じのご担当者様、または、公共交通計画等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。
（※本調査票は、過去にアンケートにご回答いただいた部署または公共交通計画等の関係部署あてにお送りしていますが、別に該当する部署がありましたら、回答が可能なご担当者様にご転送願います。）
- ・ なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月17日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、

記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和4年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和4年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）
※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →問2へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問1.1へ
3. これまで実施したことがない →副問1.1へ

副問1.1 問1で「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

(1) 「交通環境学習」に取組む意向はありましたか？（1つに○）

1. 取組に向けて検討したが断念した
2. 関心はあったが検討しなかった
3. 関心もない

(2) その主な理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果がわからない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に： _____）

→副問1.1のあとは、4ページの問4へ

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。

(1) それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

副問2.1 (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。
授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に： _____）

→副問2.1のあとは、3ページの問3へ

(2) それは、学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

具体的に：

副問 2.2 (2) でご回答いただいた方にお伺いします。

(2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： _____）

→副問 2.2 のあとは、問 3 へ

問 3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____）						
	（具体的に： _____）						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

問 4 今年度（令和5年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

1. 取り組む予定である（または、既に実施済み）
2. 予定はないが、機会があれば取り組む
3. 取り組まない
4. わからない

問 5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)

問 6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

最後にご回答者様についてご記入ください。

■ 貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署			
氏名		役職			
TEL		FAX		e-mail	

交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら：<http://mm-education.jp/magazine.html>)

はい いいえ

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月17日（金）**までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<http://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、
「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

調査票 C(白)

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の教育委員会での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定しています。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

交通環境学習の
授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・ バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含まれます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合はその内容をご存じのご担当者様、取組まれていない場合は学校教育等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。
- ・ なお、各自治体の公共交通関係部署にも同様のアンケートを別途実施しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月17日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

令和4年度の「交通環境学習」の取組み状況について

問1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和4年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

1. 全校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている →問2へ
2. 一部の学校で、授業に取り入れている →問2へ
3. 今は取り組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能 →問4へ
4. 授業に取り入れることは難しい →問4へ

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか（いくつでも）

1. 住んでいるまちの理解が深まる
2. 住んでいるまちへの愛着が生まれる
3. 公共の場でのルールやマナーを身につけることができる
4. 地球環境への理解が深まる
5. 移動手段について考え、選択することができるようになる
6. バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる
7. 地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる
8. 改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる
9. その他（具体的に： _____）

問3 昨年度（令和4年度）に実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____）						
	（具体的に： _____）						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今後の「交通環境学習」について

問 4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 授業時間の確保が難しい
2. 予算が足りない
3. 具体的な取組内容がわからない
4. 自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい
5. 適切な教材を準備することが難しい
6. 自分たちの地域や交通に関するデータ（教材）を入手することが難しい
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない
9. 具体的事例を知る機会が少ない
10. その他（具体的に： _____）

問 5 今年度（令和5年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

1. 取り組む予定である（または、既に実施済み）
2. 予定はないが、機会があれば取り組む
3. 取り組まない
4. わからない

■ 「交通環境学習」の普及・推進について

問 6 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

1. 児童・生徒用コンピュータ
2. 児童・生徒用タブレット端末
3. 電子黒板
4. その他（具体的に： _____）

- 問7** 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む学校は、全国で少しずつ増えています。
また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。
貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

具体的に：

■ ご回答者について

- 本アンケートのご回答者をご記入ください

※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

教育委員会名					
回答者の氏名			所属部署・役職		
TEL		FAX		e-mail	

交通環境学習メールマガジンの配信を希望されますか？

(過去の配信内容はこちら：<http://mm-education.jp/magazine.html>)

はい いいえ

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月17日(金)**までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

交通環境学習ポータルサイトより、交通環境学習の実施方法や支援制度についてご覧いただけます。
(<http://www.mm-education.jp/>)

具体的な支援内容や過去の取組事例等に関するご相談は、
「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部」までお問い合わせください。
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp